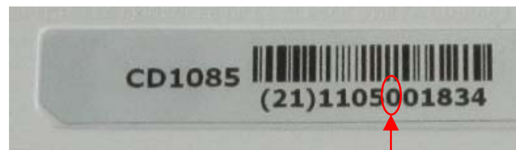
最初にお読みください[重要]

＜SELPHY CP800 プリンターユーザーガイドについて＞
SELPHY CP800 は、ファームバージョンの違いにより、ユーザーガイドが 2 種類（2 バージョン）あります。プリンター底面のシリアル番号を確認いただき、閲覧するバージョンをクリックしてください。

１．シリアル番号による判別方法



プリンタ底面



右から 6 番目の数字

①右から 6 番目の数字が 0 か 1　→　1st バージョン
②右から 6 番目の数字が 2 以上　→　2nd バージョン

また、修理に持ち込まれた場合にプリンター本体が 2nd バージョンにファームアップされることがあります。その際には、修理票に 2nd バージョンにファームアップしたコメントが記載され、2nd バージョン用のユーザーガイド（または変更点のみ抜粋されたユーザーガイド）が修理品に添付されます。

２．ファームバージョン相違点
①1st バージョン
レイアウト印刷（1 枚の用紙に複数の画像を印刷：ユーザーガイド 19 ページ参照）の設定が電源オフ後も記憶されています。次回も同じレイアウトを使用する場合は便利ですが、そうでない場合は予期せぬレイアウトで印刷されてしまいます。
②2nd バージョン
レイアウト印刷の設定が電源オフによりリセットされ、電源オン後は 1 枚に 1 画像を印刷する設定に戻ります。電源オフした後もレイアウト印刷設定を記憶させておきたい場合は、ボタン操作（2nd バージョン用ユーザーガイド 19 ページ参照）により 1st バージョンと同じように電源オフでも記憶させておく設定にすることもできます。

Canon

SELPHY CP800

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド




日本語

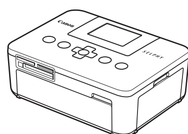
- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全に使っていただくために」をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



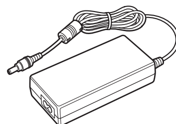
箱に入っているものを確認しよう

お使いになる前に、以下のものが入っていることを、□にチェックを入れながら確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

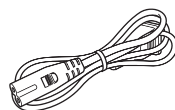
□ セルフィー本体



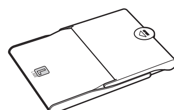
□ コンパクトパワーアダプター
CA-CP200 W



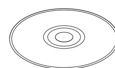
□ 電源コード



□ ペーパーカセット（L サイズ）
PCL-CP300



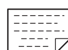
□ COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk



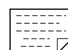
□ プリンターユーザーガイド（本書）



□ サポートガイド



□ 保証書



インクと用紙について（別売）

お使いになる前に、カラーインク／ペーパーセットを別途購入してください。

カラーインク／ペーパーセット			必要なペーパーカセット
製品名	用紙の大きさ	印刷できる枚数	
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	L サイズ	36	ペーパーカセット PCL-CP300（本製品に付属）
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP 3PACK		108	
カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	カードサイズ	36	ペーパーカセット PCC-CP300*
カラーインク／フルサイズラベルセット KC-18IF（全面シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）		18	
カラーインク／ペーパーセット KP-36IP（ポストカード）	ポストカードサイズ	36	ペーパーカセット PCP-CP300*
カラーインク／ペーパーセット KP-72IN（写真用紙）		72	

* カラーインク／ペーパーセットと一緒に、別途購入してください。

はじめにお読みください



著作権について

本製品で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



保証について

本製品の保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。



液晶モニター（画面）について

- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、印刷される画像に影響はありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。

このガイドの記載について

- 本プリンターのことを「セルフィー」または「本機器」と表記しています。
- セルフィーで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- このガイドでは、ボタンやボタンの周囲に表記されている絵文字を使って説明しています。詳しくは、「操作部」（p.6）を参照してください。
- 画面に表示される絵文字や文言は、［　］つきで示しています。
- ：注意事項を示しています。
- ：補足説明を示しています。
- （p.xx）：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。

もくじ

安全に使っていただくために

- ご使用の前に「安全に使っていただくために」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**

電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **指定外の電源は使わない。**
- **分解、改造したり、加熱しない。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えない。**
- **落下などで破損したときは、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **水や海水などの液体で濡らさない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**

感電、火災の原因となります。
液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- **雷が鳴り出したら本機器や電源プラグに触れない。**

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭きとる。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。**
- **電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。**
- **電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。**

感電、火災の原因となります。

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- **本機器の内部には手を入れない。**
- **付属の電源コードが足などに引っかからない場所に本機器を設置する。**

けがや本機器の故障の原因となります。

- **次の場所で使用・保管しない。**
  - **直射日光のあたるところ**
  - **40 度を超える高温になるところ**
  - **湿気やホコリの多いところ**
  - **振動が激しいところ**

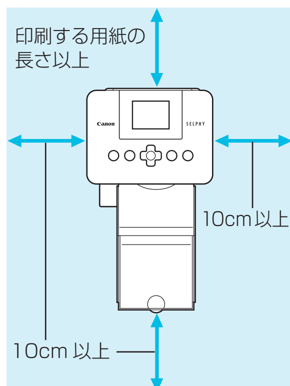
感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。
本機器やアダプターが熱により変形することがあります。

注意	物的損害を負う可能性がある内容です。

- **使用しないときや使い終わったら、コンセントから外す。**
- **布などをかけたまま使用しない。**

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

セルフィーを置こう

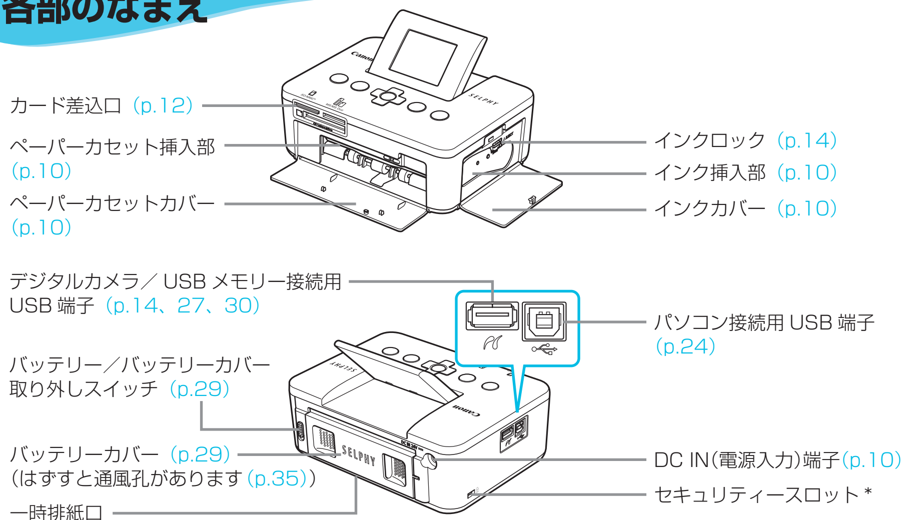


- 机などのしっかりしたものの上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には、絶対に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m 以上離してください。
- セルフィーの周囲は、10cm 以上あけてください。
- セルフィーのうしろは、印刷時に用紙が出たり入ったりするため、印刷する用紙の長さ以上あけてください。



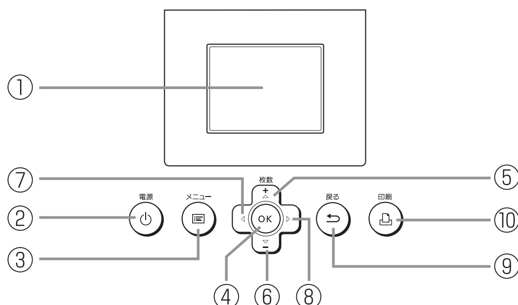
- モーターなどの強力な磁場を発生させる装置の近くにセルフィーを絶対に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビやラジオなどの近くにセルフィーを置かないでください。誤動作の原因となります。

各部のなまえ



* ケンジントンロックなどのセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

操作部



本書での表記		名称	機能
①	–	画面（液晶モニター）	画像や各種設定画面、エラーメッセージを表示します（p.32）。
②	⏻	電源ボタン	電源を入／切します（p.11）。
③	☰	メニューボタン	メニュー画面を表示します（p.11）。
④	**OK**	OK ボタン	選んだ項目を設定します。
⑤	▲	上／枚数＋ボタン	印刷枚数の指定や、設定項目を選びます。
⑥	▼	下／枚数－ボタン	
⑦	◀	左ボタン	表示画像を切り換えたり、設定値を変えたりします。
⑧	▶	右ボタン	
⑨	⮌	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ったり（p.7）、印刷を中止したりします（p.14）。
⑩	🖶	印刷ボタン	印刷をはじめます（p.14）。

画面の表示内容一覧



画面の表示を情報表示なしにする

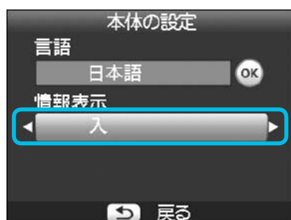
画面に表示される画像情報を非表示にして、画像を大きく表示することができます。

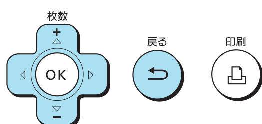
1

設定画面を表示する

● p.11 の手順 1 ～ 3 の操作を行います。

2







設定する

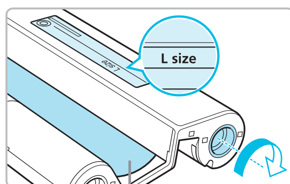
● ▲ か ▼ を押して［情報表示］を選びます。
● ◀ か ▶ を押して[切]を選び、⮌ を押すと設定されます。
● もう一度 ⮌ を押すと、画像表示画面に戻ります。

▶ 画面一杯に画像が表示され、印刷される範囲を示す枠が表示されます。

準備しよう

画像を印刷するための準備をします。なお、ここでの説明は、Lサイズのカラーインク／ペーパーセット（別売）（p.2）を使ったときを例に説明していますが、Lサイズ以外のカラーインク／ペーパーセットを使うときも、同じ操作で準備できます。

インクを準備しよう



インクを確認する

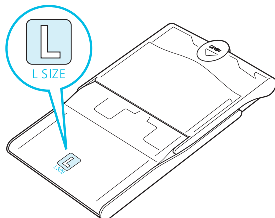
- 印刷する用紙とインクの「用紙サイズ表示」（L size、Card size など）があっていることを確認します。
- インクシートにたるみがないか確認します。たるみがあるときは、図のように軸を回してたるみをとります。
- 回しすぎると、枚数分の印刷ができなくなったり、シートが切れると印刷できなくなくなったりしますので、十分注意してください。



インクシートを引っ張ったり、触ったり、濡れた手でインクを持ったりしないでください。インクシートが切れたり、汚れや水滴がついたりすると、印刷できなくなります。

ペーパーカセットを準備しよう

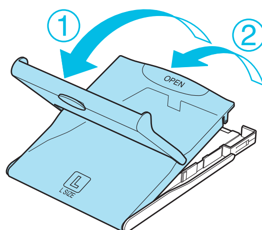
1



用紙サイズ表示を確認する

- 準備したインクとペーパーカセットの「用紙サイズ表示」（L SIZE、CARD SIZEなど）があっているか確認します。

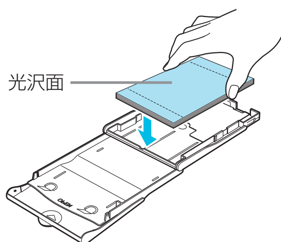
2



ふたを開ける

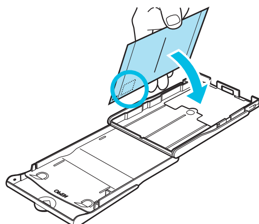
- ふたは 2 段階になっています。外ふたを開けてから①、中ふたを開けます②。

3



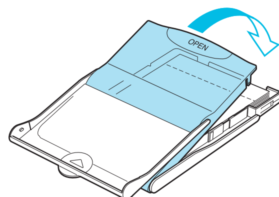
用紙を入れる

- 準備したペーパーカセット用の用紙を入れます。
- ペーパーカセットに入れられる用紙は 18 枚までです。19 枚以上の用紙を入れると、故障や誤動作の原因になります。
- 用紙を図のように持ち、光沢のある面を上にして入れます。（光沢のある面には触らないでください。きれいに印刷できなくなります）
- 用紙に「保護シート」が付いているときは、保護シートを取り除いて、用紙だけを入れます。



- 切手欄のあるポストカードサイズのときは、切手欄を図の向きにして入れます。

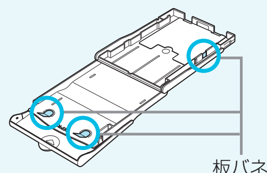
4



ふたを閉める

- 中ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。外ふたは印刷するときは開いたまま使います。

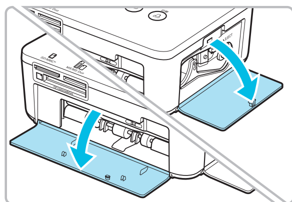
- 用紙は、必ずキヤノン純正の「カラーインク／ペーパーセット」に入っている、セルフィー CP シリーズ専用用紙をお使いください。専用用紙以外の用紙や郵便はがき、セルフィー ES シリーズ専用用紙は使えません。
- 以下のことは絶対に行わないでください。誤動作や故障の原因となります。
  - 用紙の表（光沢のある面）と裏を逆に入れる
  - 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離す
  - はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使う
  - 印刷前の用紙に文字などを書き込む
  - 一度印刷した用紙を再使用する
  - 使い切ったインクを再使用する
- ペーパーカセットの板バネには触らないでください。
  変形すると紙送りがうまくできなくなります。
- 用紙の表（光沢のある面）を触ったり、こすったり、濡れた手で用紙を持ったりしないでください。用紙の表に汚れや水滴がつくと、きれいに印刷できなくなります。



インクとペーパーカセットを入れよう



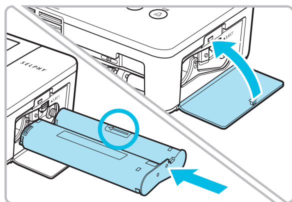
1



カバーを開ける

- ペーパーカセットカバーとインクカバーを開けます。

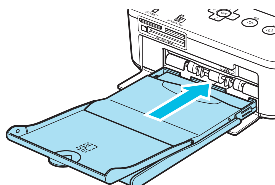
2



インクを入れる

- インクをインク上の矢印方向に、「カチッ」と音がして、ロックされるまで差し込みます。
- インクカバーを閉めます。

3



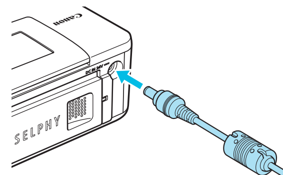
ペーパーカセットを取り付ける

- 外ふたが開いていることを確認して（p.8）、ペーパーカセットが突きあたるまで差し込みます。

電源をつなごう



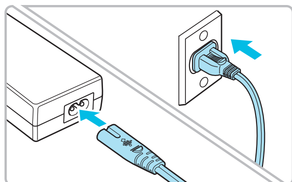
1



プラグをセルフィーにつなぐ

- アダプターのプラグをセルフィーの端子にしっかりと差し込みます。

2



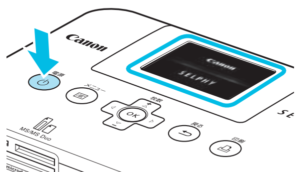
電源コードをつなぐ

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。

表示される言語を選ぼう

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。

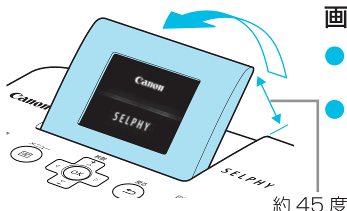
1



電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは ⏻ を押したままにして、画面の表示が換わったら ⏻ をはなします。

2

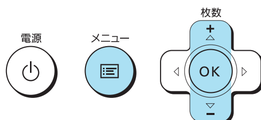


画面を見やすい位置に調整する

- 液晶モニターをおこして、画面を見やすい位置に調整します。
- 液晶モニターは約 45 度以上おこすと故障の原因となるため、絶対におこさないでください。

3

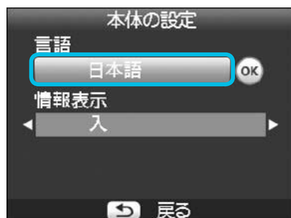


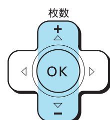


設定画面を表示する

- ☰ を押します。
- ▲ か ▼ を押して［本体の設定］を選び、**OK** を押します。

4

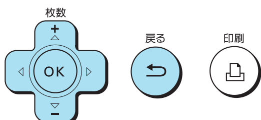




言語設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押して［言語］を選びます。
- **OK** を押します。

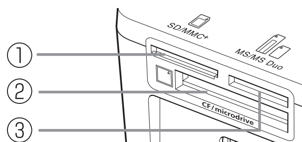
5



言語を選んで設定する

- ▲、▼、◀、▶ を押して言語を選び、**OK** を押します。
- ⮌ を 2 回押すと、手順 1 の画面に戻ります。

使えるカードと差し込み口を確認しよう



カード差し込み口	そのまま使えるカード	専用アダプター（市販品）を使うと使えるカード
① SD/MMC+	● SD（エスディー）メモリーカード ● SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード ● SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード ● MMC（エムエムシー）カード *1 ● MMCplus（エムエムシープラス）カード ● HC MMCplus（エイチシーエムエムシープラス）カード	● miniSD（ミニエスディー）メモリーカード ● miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード ● microSD（マイクロエスディー）メモリーカード ● microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード ● microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード ● RS-MMC（アールエスエムエムシー）カード *2 ● MMCmobile（エムエムシーモバイル）カード ● MMCmicro（エムエムシーマイクロ）カード
② CF/microdrive	● CF（シーエフ）カード ● マイクロドライブ	● xD-Picture Card（エックスディーピクチャーカード）*3
③ MS/MS Duo	● メモリースティック ● メモリースティック PRO（プロ） ● メモリースティック デュオ ● メモリースティック PRO（プロ）デュオ	● メモリースティックマイクロ

*1「MMC」は、「MultiMediaCard」の略です。
*2「RS-MMC」は、「Reduced-Size MultiMediaCard」の略です。
*3 動作確認済みアダプター：富士フイルム株式会社 DPC-CF



- アダプターが必要なカードは、必ずアダプターを使ってカード差し込み口に差し込んでください。アダプターを使わずに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
- 撮影した機器で初期化したカードをお使いください。パソコンで初期化したカードでは、画像を認識できないことがあります。



カードやアダプターの使いかたについては、カードやアダプターの使用説明書を参照してください。

USB メモリーについて



USB メモリー（市販品）をセルフィーにつないで、USB メモリー内の画像を印刷することもできます(p.14)。

印刷できる画像を確認しよう

セルフィーで印刷できるのは、Exif 規格に準拠した JPEG 画像です。

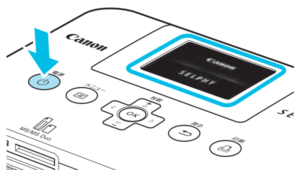


パソコンで編集した画像や、撮影時の画像サイズによっては正しく表示・印刷できないことがあります。

画像を選んで印刷しよう

画像を選び、印刷枚数を指定して印刷することができます。なお、ここでの説明は、SD カードを使ったときを例に説明していますが、SD カード以外のカードも、同じ操作で印刷できます。

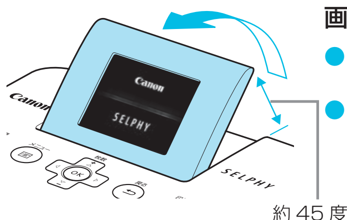
1



電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは ⏻ を押したままにして、画面の表示が換わったら ⏻ をはなします。

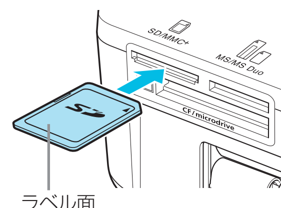
2



画面を見やすい位置に調整する

- 液晶モニターをおこして、画面を見やすい位置に調整します。
- 液晶モニターは約 45 度以上おこすと故障の原因となるため、絶対におこさないでください。

3



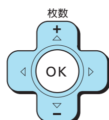
カード差し込み口にカードを 1 枚差し込む

- 印刷したい画像の入ったカードを、対応するカード差し込み口の奥に突きあたるまで差し込みます。
- ▶ 手順 4 の画面（画像表示画面）（p.7）が表示されます。

4

5





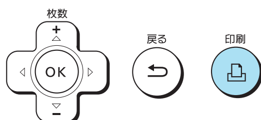
画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押して印刷したい画像を選びます。
- ◀ か ▶ を押したままにすると、5 枚先の画像が表示されます。

印刷枚数を選ぶ

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- ▲ か ▼ を押したままにすると、5 枚ずつ枚数が増減します。
- 1 画像につき 99 枚まで指定できます。
- 別の画像もいっしょに印刷するときは、もう一度、手順 4 と 5 の操作を繰り返します。

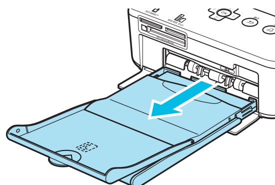
6



印刷する

- 🖶 を押すと印刷がはじまります。
- 印刷中にセルフィーの背面から用紙が一時的に出てきますが、印刷が終わってペーパーカセットの上に出てくるまでは、用紙に触れないでください。
- 印刷された用紙は、ペーパーカセットの上に出てきますが、19 枚以上はためないようにしてください。
- 印刷を途中で中止するときは、⮌ を押します。

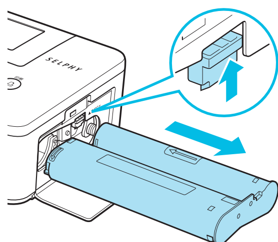
7



用紙を入れる

- 用紙がなくなったら、ペーパーカセットをセルフィーから抜きます。
- 新しい用紙を入れて （p.8）、もう一度セルフィーに差し込みます （p.10）。

8



インクをかえる

- インクがなくなったら、インクカバーを開けて、ロックを図の方向へ動かすとインクが出てきます。
- 新しいインクを入れます （p.8、10）。

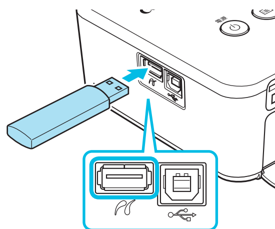

電源を入れて、セルフィーの動作音がしている間や印刷中は、「ペーパーカセットを抜く」、「インクカバーを開ける」、「カードを抜く」ことは、絶対にしないでください。故障の原因となります。



- カードに大量の画像が保存されているときは、表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 印刷指定した総画像数が「0 枚」のときに 🖶 を押すと、画面に表示されている画像が 1 枚印刷されます。
- ［DPOF 印刷をします］の画面が表示されたときは、「デジタルカメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）」（p.28）を参照してください。

USB メモリーの画像を印刷しよう 

USB メモリー（市販品）内の画像も、カード内の画像と同じように印刷できます。



USB メモリーを差し込む

- 図のように USB メモリーを差し込みます。
- 以降の操作は、カード内の画像を印刷するときと同じ操作で印刷できます （p.13 ～ 14）。

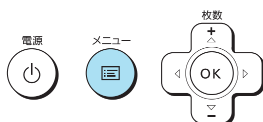


- お使いになる USB メモリーによっては、抜き差ししづらかったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
- USB メモリーの使いかたについては、お使いの USB メモリーの使用説明書を参照してください。

すべての画像を印刷しよう

カード内に保存されているすべての画像を、一括して印刷することができます。

1

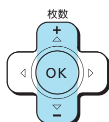


メニューを表示する

- ▤ を押します。

2

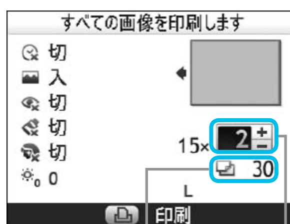


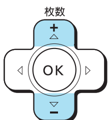


設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押して［すべてを印刷］を選び、**OK** を押します。

3

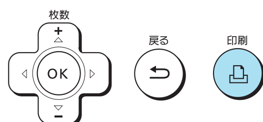




印刷部数を選ぶ

- ▲ か ▼ を押して印刷部数を指定します。
- 部数は 99 部まで指定できます。カード内に保存されている画像が 1000 枚を超えるときは、撮影日時が新しい順に 999 枚までの画像が印刷されます。

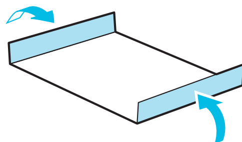
4



印刷する

- 🖶 を押すと印刷がはじまります。
- 印刷を途中で中止するときは、⮌ を押します。

印刷した写真を保管しよう



- 写真の両側にミシン目があるときは、ミシン目を折り曲げると切り取ることができます。
- 写真に文字を書くときは、油性ペンで書いてください。
- 印刷面の変色を防ぐため、「40 度を超える高温になるところ」、「湿気やホコリの多いところ」、「直射日光があたるところ」では、写真を保管しないでください。
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に「粘着テープなどを貼る」、「ビニール製のデスクマット、名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる」、「アルコールなどの揮発性溶剤をつける」、「他のものに密着させたまま放置する」などはしないでください。
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。

保存状態や時間の経過によって、印刷面が変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

印刷が終わったらかたづけよう

印刷が終わったら以下の手順でかたづけ、保管します。

- 電源を切り (p.11)、カードや USB メモリーを抜きます。
- 画面（液晶モニター）をおこしているときは、たおして収納します。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜き、アダプターのプラグをセルフィーから抜きます。
- アダプターが熱いときは、冷ましてからかたづけてください。
- ペーパーカセットを抜き、ペーパーカセットカバーを閉めます。残った用紙はペーパーカセットに入れたまま外ふたを閉め、ホコリが入らない暗いところに保管します。
- インクは、セルフィーに入れたまま保管します。
- セルフィーは水平にして、ホコリが入らない暗いところに保管します。

- セルフィーを使わないときは、画面（液晶モニター）を必ず収納してください。
- セルフィーにホコリが入ったり、用紙やインクにホコリがついたりすると、きれいに印刷できなくなります。

- 複数のインクがあるときは、1 つはセルフィーに入れて、その他はホコリがつかないよう箱や袋などに入れ、暗いところに保管してください。
- 包装から出す前の用紙やインクは、包装を開けず、暗いところに保管してください。

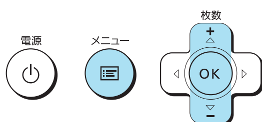
いろいろな印刷をしよう

撮影した日付を入れて印刷したり、画像の色調を変えて印刷するなど、いろいろな印刷をすることができます。また、設定した内容は、印刷するすべての画像に反映されるため、画像ごとに設定する必要はありません。

設定しよう

1



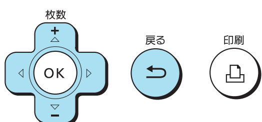


設定画面を表示する

- ▤ を押します。
- ▲ か ▼ を押して［印刷の設定］を選び、**OK** を押します。

2

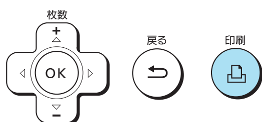




項目を選んで設定を変える

- ▲ か ▼ を押して各項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、⮌ を押すと設定されます。
- もう一度 ⮌ を押すと、画像表示画面に戻ります。
- 設定できる項目は、p.18 ～ 21 を参照してください。

3



印刷する

- 印刷する画像 （p.13）と印刷する枚数 （p.13）を選び、⎙ を押して印刷します。

日付を入れて印刷しよう（日付）





- デジタルカメラで記録された撮影日を、写真に入れて印刷することができます。
- 切（初期設定項目）、入



- セルフィーの電源を切ると、[切] に戻ります。
- 印刷される日付は、デジタルカメラが撮影時に画像へ記録した日付です。そのため、セルフィーでは変えられません。
- [日付スタイル] (p.21) で、日付のスタイル（並び順）を変えることができます。
- [レイアウト] (p.19) で [インデックス]、[証明写真]、[シャッフル] を選んでいるときは、日付は印刷されません。

自動補正で最適な写真にしよう（自動写真補正）





- 最適な画質となるよう、セルフィーが自動的に画質を補正します。
- 切、入（初期設定項目）



画像によっては、正しく補正されないことがあります。



- セルフィーの電源を切ると、[入] に戻ります。
- [レイアウト] (p.19) で [インデックス] を選んでいるときは、[自動写真補正] は反映されません。
- 補正の効果は、レイアウトや印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

人の赤目を補正して印刷しよう（赤目補正）

- 目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
- 切（初期設定項目）、入



赤目以外の部分を誤って補正することがあります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ [入] に設定してください。



- セルフィーの電源を切るか、カードを抜くと、[切] に戻ります。
- 「顔が画面全体に対して極端に小さい／大きい」、「顔が暗い／明るい」、「顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている」などの画像では、赤目が検出されなかったり、思いどおりに補正されないことがあります。
- [レイアウト] (p.19) で [2 面配置]、[4 面配置]、[8 面配置]、[インデックス] を選んでいるときは、赤目補正は行われません。
- [マイカラー] (p.20) で、[セピア]、[白黒] を選んでいるときは、赤目補正は反映されません。
- 補正の効果は、レイアウトや印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

レイアウトを選んで印刷しよう（レイアウト）





- 1 枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。印刷枚数を指定した画像が（p.13）、設定したレイアウトで印刷されます。

1 面配置（初期設定項目）	1 枚の用紙に 1 枚の画像が印刷されます	インデックス	画像がインデックス印刷されます
2 面配置	1 枚の用紙に 2 枚の画像が印刷されます	証明写真	証明写真が印刷されます
4 面配置	1 枚の用紙に 4 枚の画像が印刷されます	シャッフル	自動的にいろいろな大きさで配置された画像が印刷されます（p.20）
8 面配置 *	1 枚の用紙に 8 枚の画像が印刷されます		

* カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）（p.2）では、［8 面配置］に設定してください。



- 設定した内容は、セルフィーの電源を切ったり、カードを抜いたりしても記憶されています。
- 画像の配置は指定できません。
- レイアウトの設定によっては、［日付］（p.18）、［自動写真補正］（p.18）、［赤目補正］（p.18）、［フチ］（p.20）、［美肌］（p.21）、［明るさ補正］（p.21）の設定が反映されないことがあります。
- ［インデックス］を選んでいるときに［すべてを印刷］（p.15）を行うと、カード内のすべての画像を一覧で印刷できます。



証明写真を印刷しよう（証明写真）



- 左の写真のような証明写真として撮影した画像を、1 枚の用紙に 3 種類の大きさで、それぞれ 2 枚ずつ、合計 6 枚配置して印刷することができます。
- 「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙（p.2）に印刷することができます。

用紙	写真の大きさ（mm）		
L サイズ	45 × 35	40 × 30	30 × 24
ポストカードサイズ	60 × 51	45 × 35	40 × 30



用途によっては、正式な証明写真としてお使いいただけないことがあります。詳しくは、写真のご使用先にお問い合わせください。

いろいろな大きさの画像を配置して印刷しよう（シャッフル）





- 画像を自動的にいろいろな大きさで配置して、印刷することができます。
- 1 枚の用紙に、最大 8 枚または最大 20 枚の画像を配置することができます。
- 「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙（p.2）に印刷することができます。



- 「設定しよう」（p.17）の手順 2 の画面で、▲ か ▼ を押して［レイアウト］を選びます。◀ か ▶ を押して［シャッフル］を選び、**OK** を押します。
- 表示される左の画面で ▲ か ▼ を押して項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、⮌ を押すと設定されます。
- ⮌ を 2 回押すと、画像表示画面に戻ります。



- 画像の配置は指定できません。
- ［画像の数］で［20］を選んだときは、印刷がはじまるまでに時間がかかることがあります。

フチあり／なしで印刷しよう（フチ）







- フチありまたはフチなしで画像を印刷することができます。
- ▇ フチなし（初期設定項目）、▣ フチあり



- セルフィーの電源を切ると、［▇ フチなし］に戻ります。
- カードサイズの用紙（p.2）では、［▣ フチあり］を選んでいても、［レイアウト］（p.19）で［田 8 面配置］を選ぶと、フチなしの画像が印刷されます。

画像の色調を変えて印刷しよう（マイカラー）



- 通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

切（初期設定項目）	–	ポジフィルム	ポジフィルムのように自然で色鮮やかな色調になります
くっきり	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります	セピア	セピア調になります
すっきり	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色調になります	白黒	白黒になります



- セルフィーの電源を切ると、［切］に戻ります。
- マイカラーの設定によっては、［赤目補正］（p.18）の設定が反映されないことがあります。

人の肌がきれいに見える写真にしよう（美肌）



- 人の肌がきれいに見える写真にすることができます。
- 切（初期設定項目）、入



- 印刷が終わる、セルフィーの電源を切る、カードを抜くなどの操作を行うと、［ 切］に戻ります。
- 人の肌以外を補正したり、思ったような効果が得られないことがあります。
- ［レイアウト］（p.19）で［ インデックス］を選んでいるときは、［美肌］は反映されません。

明るさを補正して印刷しよう（明るさ補正）









- 画像の明るさを、± 3 の範囲で補正することができます。
- ＋の数値が大きくなるほど明るくなり、－の数値が大きくなるほど暗くなります。



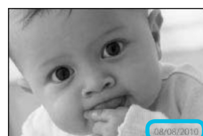
- セルフィーの電源を切ると、［0］に戻ります。
- ［レイアウト］（p.19）で［ インデックス］を選んでいるときは、［明るさ補正］は反映されません。

日付スタイル（並び順）を選んで印刷しよう（日付スタイル）









- 日付を入れて印刷（p.18）するときの、日付の並び順を変えることができます。
- 年 / 月 / 日（初期設定項目）、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年



設定した内容は、セルフィーの電源を切ったり、カードを抜いたりしても記憶されています。

パソコンの画像を印刷しよう

パソコンにセルフィーをつないで付属のソフトウェアを使うと、セルフィー単体ではできない、画像を一覧しながらの印刷や、いろいろな印刷ができます。また、音声による操作案内もありますので、パソコンに不慣れな方も、かんたんに印刷することができます。



一覧から好みの画像を選んで印刷

- 画像を一覧しながら、印刷したい画像を選んで、まとめて印刷することができます。



飾りをつけて印刷

- 画像にフレームやスタンプをつけて印刷することができます。また、画像に文字を入れて印刷することもできます。



カレンダー印刷

- 画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

使えるパソコンを確認しよう

	Windows	Macintosh
OS	Windows 7 Windows Vista Service Pack 1、Service Pack 2 Windows XP Service Pack 3	Mac OS X v10.4 ～ v10.6
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること	
CPU	Pentium 1.3GHz 以上	PowerPC G4/G5 または Intel プロセッサー
RAM	Windows 7（64bit）：2GB 以上 Windows 7（32bit）、 Vista（64bit、32bit）：1GB 以上 Windows XP：512MB 以上	Mac OS X v10.4 ～ v10.5：512MB 以上 Mac OS X v10.6：1GB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	120MB 以上 *	140MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上	1,024 × 768 ドット以上

* Windows XP では、Microsoft .NET Framework 2.0（最大 280MB）以上のインストールが必要です。お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

ソフトをインストールして立ち上げよう

Windows Vista と Mac OS X 10.5 を使ったときを例に説明しています。

用意するもの

- パソコン
- 付属の CD-ROM（COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk）（p.2）
- USB ケーブル（長さが 2.5m 以下の市販品）（セルフィー側端子は Type B）

1

ソフトウェアをインストールする

Windows



- CD-ROM をパソコンのドライブに入れて、左の画面が表示されたら［おまかせインストール］をクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって進めてください。



▶ インストールを進めると左の画面が表示されます。

Macintosh



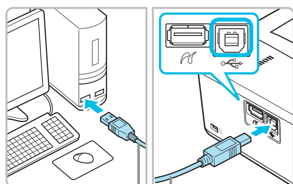
- CD-ROM をパソコンのドライブに入れ、CD-ROM 内の［ ］をダブルクリックします。
- 左の画面が表示されたら、［インストール］をクリックして、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- インストールが終わると表示される画面で［はい］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

2

セルフィーの準備をする

- セルフィーの電源が入っているときは電源を切り、カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます（p.8 ～ 10）。

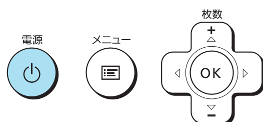
3



セルフィーとパソコンをつなぐ

- USB ケーブルでセルフィーとパソコンをつなぎます。
- USB ケーブルの使いかたや、パソコンとのつなぎかたについては、それぞれの使用説明書を参照してください。

4



セルフィーの電源を入れる

- ⏻ ボタンを押して、電源を入れます。

Windows

- インストールが終わると表示される画面で［再起動］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

5



ソフトが立ち上がったことを確認する

▶ セルフィーとパソコンが通信できる状態になると、ソフトが立ち上がって、左の画面が表示されます。

- 次回使うときは、手順 2 ～ 4 の操作を行うと、ソフトが自動的に立ち上がって使えるようになります。

Windows

- 手順 5 の画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［SELPHY Photo Print］▶［SELPHY Photo Print］を選びます。

Macintosh

- 手順 5 の画面が表示されないときは、下記の手順でプリンターの登録操作を行います。
  メニューの［ ］を選び、［システム環境設定］▶［プリントとファクス］の順にクリックして［プリントとファクス］画面を表示します。［＋］を押して表示される画面で［CP800］を選び、［追加］をクリックします。
  登録操作を終えたら、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［SELPHY Photo Print］アイコンをクリックすると、手順 5 の画面が表示されます。



- USB ハブを介してセルフィーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
- 他の USB 機器（USB マウス、USB キーボードを除く）と同時に使うと、正しく動作しないことがあります。他の USB 機器をパソコンから外して、再度つないでください。
- セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態でパソコンをスタンバイ状態にしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スタンバイ状態から回復してください。
- パソコンの操作方法については、お使いのパソコンの使用説明書を参照してください。

ソフトを使って画像を印刷しよう

インストールしたソフト（SELPHY Photo Print）を使って、パソコンに保存されている画像を印刷することができます。
ここでは、画像を一覧しながら印刷したい画像を選んでまとめて印刷することができる、[そのまま印刷する]の機能について説明します。なお、必要な操作は音声で案内されますので、スピーカーのあるパソコンでは、音声が出るように設定することをおすすめします。

1



印刷メニューを表示する

- [印刷メニューへ] をクリックします。
- 印刷するための準備（ペーパーカセット、インクを入れるなど）ができていないときは、[印刷メニューへ] がクリックできません。音声の案内や、画面の表示にしたがって、必要な操作を行ってください。

2



印刷方法を選ぶ

- [そのまま印刷する] をクリックします。
- [飾り付けて印刷する] をクリックすると、画像にフレーム、スタンプ、ふきだしをつけて印刷することができます。
- [カレンダーを印刷する] をクリックすると、画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

3

画像を選ぶ

▶ Windows のときは [マイピクチャ] フォルダ、Macintosh のときは [ピクチャ] フォルダ内の画像が、一覧表示されます。

表示する画像の条件を選べます。



このボタンを押して表示される画面でフォルダを選ぶと、別のフォルダに保存されている画像を表示することができます。

- 印刷する画像を選んでクリックします。

▶ 背景の色が変わり、印刷する画像に指定されます。

- 同じ操作で、印刷したいすべての画像をクリックします。
- もう一度クリックすると、背景の色が元に戻り、印刷の指定が解除されます。
- 画像を選んだら、[次へ] をクリックします。

4



［−］か［+］を押して印刷する枚数を指定します。

印刷する枚数を指定して印刷する

- 画像ごとに、印刷する枚数を指定します。
- Windows では、［印刷］をクリックすると印刷がはじまります。
- Macintosh では、［印刷］をクリックすると表示される画面で、［プリント］をクリックすると印刷がはじまります。

5

終了する

Windows

- すべての印刷が終わったら、画面右上の をクリックします。

Macintosh

- すべての印刷が終わったら、画面左上の をクリックします。

音声ガイドを切る

お使いのパソコンによっては、音声ガイドが正しく再生できないことがあります。音声ガイドが聞きづらいときは、以下の手順で、音声ガイドを［切］にしてお使いください。



音声ガイドを切る

- 「ソフトを使って画像を印刷しよう」（p.25）の手順 1 の画面で、ラジオボタンの［切］を選びます。
- ▶ 音声ガイドが［切］になります。

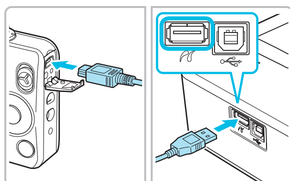
デジタルカメラとつないで印刷しよう

PictBridge に対応したデジタルカメラをつなぐと、デジタルカメラで選んだ画像を印刷することができます。ここでは、例としてキヤノン製コンパクトデジタルカメラをつないだ印刷方法を説明しますが、お使いになるデジタルカメラと操作方法が異なるときは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

1

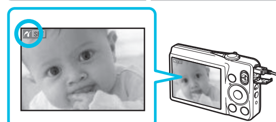
セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

2



デジタルカメラに付属のインターフェースケーブル（USB ケーブル）でセルフィーとデジタルカメラをつなぐ

3



セルフィー、デジタルカメラの順に電源を入れ、デジタルカメラの画像を再生する

▶ お使いになるデジタルカメラによっては、デジタルカメラの画面に が表示されます。

4

デジタルカメラで画像を選び、印刷に必要な操作をする

- デジタルカメラを操作して印刷をはじめます。

▶ 印刷がはじまります。

- すべての印刷が終わったら、セルフィーとデジタルカメラの電源を切り、ケーブルを外します。

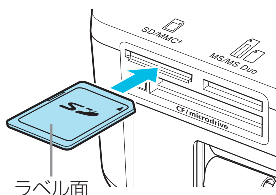


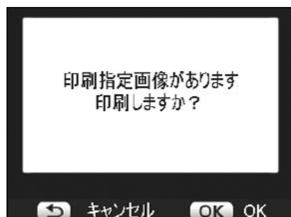
- 印刷中は、セルフィーの ⮌ で印刷を中止できません。デジタルカメラを操作して中止してください。
- PictBridge とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定した統一規格です。メーカーや機種を問わず、デジタルカメラやビデオカメラとプリンターをつなぎ、パソコンを経由せずにダイレクトプリントすることを目的としたものです。

デジタルカメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）

印刷する画像の指定や印刷時の設定などを、あらかじめデジタルカメラで行い、まとめて画像を印刷することができます。設定方法については、お使いのデジタルカメラの使用説明書を参照してください。

1

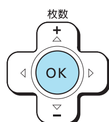




デジタルカメラで DPOF 設定したカードを、カード差し込み口に差し込む

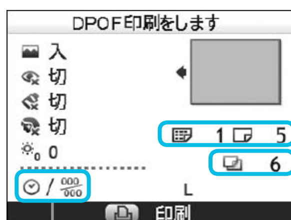
▶［印刷指定画像があります　印刷しますか？］と画面に表示されます。

2



OK を押す

3



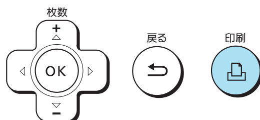
設定の内容を確認する

デジタルカメラで設定した「印刷タイプ」
：インデックス
：スタンダード

必要な用紙の枚数

デジタルカメラで設定した［日付］と［画像番号］

4



印刷する

● を押すと印刷がはじまります。

- 日付や画像番号は、デジタルカメラで設定した DPOF 情報になります（セルフィーでは変えられません）。
- キヤノン製デジタルカメラで［印刷タイプ］を［スタンダード］に設定しているときは、「いろいろな印刷をしよう」（p.17 ～ 21）の機能を適用することができます。
- 手順 3 の画面は、を押して［DPOF 印刷］を選び、**OK** を押しても表示できます。
  ただし、デジタルカメラで DPOF の設定をしたカードを差し込まないと、メニュー画面に［DPOF 印刷］は表示されません。

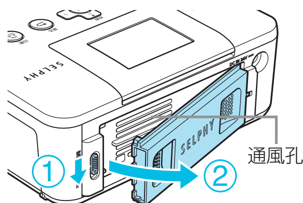
バッテリーを使って印刷しよう

バッテリーパック NB-CP2L（別売）を使うと、コンセントのない場所でも画像を印刷することができます。
なお、フル充電したバッテリーで、L サイズの用紙を約 54 枚印刷 * することができます。
* 印刷枚数は当社測定条件によります。また、印刷条件により異なることがあります。

バッテリーを取り付けよう



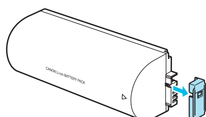
1



バッテリーカバーを取りはずす

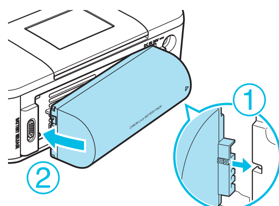
- ①の方向へスイッチを動かしたまま、②の方向へ動かしてはずします。

2



バッテリーの端子カバーをはずす

3

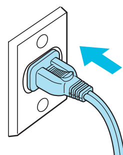


バッテリーを取り付ける

- ①の方向へ差し込んだあと、②の方向へ「カチッ」と音がして、ロックされるまで動かして取り付けます。

バッテリーを充電しよう





セルフィーに電源をつなぐ (p.10)

▶ 充電がはじまり、［ ］が画面に表示されます。
▶ 充電は約 4 時間で完了し、［ ］が消えます。
- 充電中にセルフィーを使うときは、電源を入れる (p.11) と使うことができます（充電は中断されます）。また、電源を切る (p.11) と［ ］が表示され、充電が再開されます。



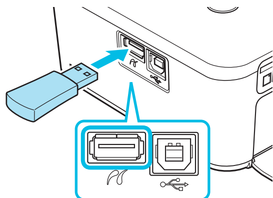
- バッテリーの注意事項については、バッテリーに付属の使用説明書を参照してください。
- ［ ］が表示されている状態で、⏻ 以外のボタンを約 3 秒以上押すと、［ ］の表示が消えます。また、画面が消えている状態でも充電中のときは、⏻ 以外のボタンを押すと、約 10 秒間だけ［ ］が表示されます。
- セルフィーを約 5 分以上使わないと、節電のため自動的に電源が切れます。
- ［ ］が赤く表示されたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

携帯電話の画像を印刷しよう

Bluetooth ユニット BU-30（別売）を使うと、Bluetooth 対応の携帯電話で撮った画像を無線で印刷することができます。なお、携帯電話の使いかたや、Bluetooth による印刷方法については、お使いの携帯電話の使用説明書を参照してください。

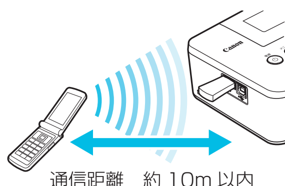
1 セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

2 Bluetooth ユニットを取り付ける



- BU-30 についているカバーを取り外し、図のように差し込みます。
- セルフィーの電源を入れます （p.11）。

3 携帯電話からセルフィーに画像を送る



通信距離　約 10m 以内

- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅します。
- ▶ 通信が終わると、印刷がはじまります。



- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅しますが、通信が中断されると Bluetooth ユニットの点滅が消えます。そのときは、携帯電話に表示されるメッセージにしたがって、もう一度操作してください。
- 通信距離が 10 m以下でも、下記条件では電波状況が変わるため、正しく通信できなかったり、通信速度が遅くなったりすることがあります。
  - Bluetooth ユニットと携帯電話の間に障害物がある
  - 磁場、静電気、電波障害が発生している場所で使用している
- 転送できる画像のファイルサイズは、最大で約 2 ～ 3MB です（お使いの携帯電話によって異なります）。
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷がはじまるまで時間がかかることがあります。
- お使いの携帯電話の機種によっては、カードに保存した画像を印刷できないことがあります。
- お使いになるカラーインク／ペーパーセット （p.2） によっては、画像の上下左右が切り取られて印刷されることがあります。



- 携帯電話から接続先の機種名を選ぶときは、「Canon CP800（XX:XX:XX）（X は数字）」を選んでください。
- パソコンとセルフィーを無線で通信させることはできません。
- 動画やメール、電話帳の内容、インターネットやメール添付の URL からダウンロードした画像は印刷できません。
- 印刷される画像の向きはセルフィーで自動的に設定されます。
- 動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/cpp でご確認ください。

故障かな？と思ったら

「セルフィーが故障したのかな？」と考える前に、下記の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

●電源が入らない

- 電源が正しくつながっているか確認してください (p.10)。
- 画面が表示されるまで、⏻ を押したままにしてください (p.11)。
- バッテリー（別売）をお使いのときは、充電されたバッテリーを使ってください (p.29)。

印刷

●印刷できない

- セルフィーの電源が入っているか確認してください (p.11)。
- インクやペーパーカセットが正しく入っているか確認してください (p.10)。
- インクがないときは新しいインクに交換し、用紙がないときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください (p.14)。
- 用紙とペーパーカセット、インクの組み合わせが正しいか確認してください (p.8)。
- デジタルカメラやカード、パソコンを同時につないでいると正しく印刷できないことがあります。複数つないでいる機器を取り外してください。
- インクシートがたるんでいないか確認してください (p.8)。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください (p.9)。
- セルフィーは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。パソコンにつないでいるときは、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

カードや USB メモリー内の画像が表示されない／印刷できない

- カードが正しい差し込み口に、ラベル面を上にして奥まで入っているか確認してください (p.12、13)。
- USB メモリーが正しい差し込み口に、正しい向きで奥まで入っているか確認してください (p.14)。
- 対応画像か確認してください (p.12)。
- 専用のアダプターを使わずに、カードをカード差し込み口に差し込んでいないか確認してください (p.12)。

デジタルカメラから印刷できない

- デジタルカメラが PictBridge に対応しているか確認してください (p.27)。
- セルフィーとデジタルカメラが正しくつながっているか確認してください (p.27)。
- デジタルカメラのバッテリーや電池の残量を確認してください。残量がないときは、フル充電されたバッテリーまたは新品の電池に取りかえてください。

パソコンから印刷できない

- 正しい手順でソフトウェアをインストールしているか確認してください (p.23)。
- セルフィーとパソコンを、USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください (p.24)。
- Windows をお使いのときは、プリンターがオフラインになっていないか確認してください。
  オフラインになっているときは、プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Macintosh をお使いのときは、プリンタリストにお使いのセルフィーが登録されているか確認してください (p.24)。

●日付印刷ができない

カードや USB メモリー内の画像に日付を入れて印刷できない

- 日付を入れて印刷する設定を行っているか確認してください (p.28)。
  DPOF 印刷を行うときは、日付の設定は DPOF を設定したデジタルカメラで行います。

携帯電話内の画像に日付を入れて印刷できない

- 携帯電話の画像（p.30）は、日付を入れて印刷できません。

デジタルカメラ内の画像に日付を入れて印刷できない

- デジタルカメラで日付の設定が［入］になっているか確認してください。なお、「標準設定」に設定したときは、セルフィーの日付印刷の設定が反映されます。

●きれいに印刷できない

- インクシートや用紙が汚れていないか確認してください。
- セルフィー内部にホコリなどが付着していないか確認してください（p.35）。
- セルフィーに結露が発生していないか確認してください（p.35）。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていないか確認してください（p.5）。

●パソコンの画面の色と印刷された色が違う

- パソコンの画面と印刷では、発色の方法が異なります。また、画面を見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、画面の色の調整によっても違ってきます。

●パソコンで印刷中断後に再開したら、すでに印刷した画像が印刷されてしまった

- Macintosh をお使いのときは、印刷を中断したあとで再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

用紙

●用紙がカセットに入らない

- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズがあっているか確認してください（p.2）。

●きちんと紙送りされない／よく紙が詰まる

- 用紙やペーパーカセットが正しくセットされているか確認してください（p.8、10）。
- ペーパーカセットに 19 枚以上の用紙を入れていないか確認してください。
- ペーパーカセットの上に印刷済みの用紙を 19 枚以上ためていないか確認してください。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください（p.9）。

●枚数分印刷できない／用紙があまる

- 「印刷中に印刷を中止する」、「インクシートを引っ張る」などの操作を行うとインクを消費します。また、複数枚を印刷している途中で用紙がなくなったときに、インクを抜いても、インクを消費しますので、用紙を補充するときは、インクを抜かずにペーパーカセットだけを抜いて、用紙を補充してください。

●用紙が出てこない

- 用紙の一部がセルフィーの前や後ろ（一時排紙口）（p.6）より出ているときは、用紙を持って取り出してください。ただし、用紙を軽くつまむ程度の力で取り出せないときは、絶対に無理に引っ張らないでください。そのときは、電源を一度切り、もう一度入れなおす操作を、用紙が出てくるまで繰り返してください。

エラーメッセージが表示されたら

セルフィーに不具合が発生すると、画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージと一緒に対応方法が表示されたときは、対応方法にしたがって操作してください。また、エラーメッセージのみのときは、「故障かな？と思ったら」（p.31）の例を参考に確認してください。
なお、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。



セルフィーとデジタルカメラをつないでいるときは、デジタルカメラの画面にもエラーメッセージが表示されることがありますので、あわせて確認してください。

主な仕様

SELPHY CP800

印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコートつき）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調色	256 階調／色	
インク	専用カラーインク（Y/M/C ／オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ、L サイズ、カードサイズ（全面シール、8 分割シール含む）	
印刷サイズ	**フチなし**	**フチあり**
ポストカードサイズ	100.0 × 148.0mm	91.4 × 121.9mm
L サイズ	89.0 × 119.0mm	79.2 × 105.3mm
カードサイズ	54.0 × 86.0mm	50.0 × 66.7mm
（8 分割シール 1 枚あたり）	22.0 × 17.3mm	–
印刷時間 *[1]	**メモリーカード、USB メモリー、カメラ接続時（PictBridge）の印刷時間**	
ポストカードサイズ	約 47 秒	
L サイズ	約 39 秒	
カードサイズ	約 24 秒	
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
画面	チルト式 2.5 型 TFT 液晶カラーモニター	
インターフェース		
USB	PictBridge 対応機器：TypeA パソコン接続時：TypeB	
無線	Bluetooth*[2]（プリントビーム）	
メモリーカード	CF（シーエフ）カード、マイクロドライブ、xD-Picture Card（エックスディーピクチャーカード）*[3]、SD（エスディー）メモリーカード、SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード、SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード、MMC（エムエムシー）カード、MMCplus（エムエムシープラス）カード、HC MMCplus（エイチシーエムエムシープラス）カード、miniSD（ミニエスディー）メモリーカード *[3]、miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード *[3]、microSD（マイクロエスディー）メモリーカード *[3]、microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード *[3]、microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード *[3]、RS-MMC（アールエスエムエムシー）カード *[3]、MMCmobile（エムエムシーモバイル）カード *[3]、MMCmicro（エムエムシーマイクロ）カード、メモリースティック、メモリースティック PRO（プロ）、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO（プロ）デュオ、メモリースティックマイクロ *[3]	
USB メモリー	FAT ／ exFAT のみ対応	
動作温度	5 ～ 40℃	
動作湿度	20 ～ 80%	
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W バッテリーパック NB-CP2L（別売）	
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）	
大きさ	177.0 × 134.6 × 68.8mm	
質量（本体のみ）	約 940g	

*[1] イエロー面の印刷開始から排紙完了まで。
*[2] Bluetooth ユニット BU-30（別売）が必要。
*[3] 専用アダプター（市販品）が必要。

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 1.5A（100V）～ 0.75A（240V）
定格出力	DC24V、2.2A
使用温度範囲	0 ～ 40℃
質量	約 310g

バッテリーパック NB-CP2L（別売）

形式	リチウムイオン電池
公称電圧	DC22.2V
公称容量	1200mAh
充放電回数	約 300 回
使用温度範囲	5 ～ 40℃
大きさ	110.0 × 40.7 × 37.5mm
質量	約 230g

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。
使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

日ごろの取り扱いについて

- 強い力や振動を加えないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。外装が変質することがあります。
- 周囲の温度によっては、セルフィーが一定温度以上になると一時的に印刷が停止しますが、故障ではありません。温度が下がると印刷が再開されますので、少しお待ちください。また、「連続して印刷するとき」、「周囲の温度が高いとき」、「セルフィー背面の通風孔がふさがれるなどして、セルフィー内部の温度が高いとき」は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
- セルフィーを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、セルフィーをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万が一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。
- セルフィーが汚れたときは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
- バッテリーカバーや通風孔（p.6、29）にホコリがついたときは、インクを取り外して（p.14）からホコリをとってください。通風孔からホコリが入ると、きれいに印刷されないことがあります。


絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤を使ってセルフィーを拭かないでください。外装が変質や変形したり、塗装がはがれたりすることがあります。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。プリンターユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- Portions of the code used in this firmware are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品およびソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになったときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター　050-555-90013

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00 ／土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、セルフィーで印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。

CDI-J434-030

Canon

SELPHY CP800

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド





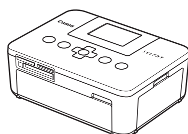
日本語

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全に使っていただくために」をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

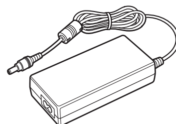
箱に入っているものを確認しよう

お使いになる前に、以下のものが入っていることを、□にチェックを入れながら確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

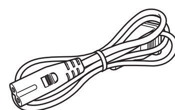
□ セルフィー本体



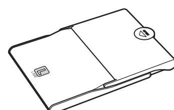
□ コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W



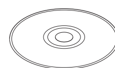
□ 電源コード



□ ペーパーカセット（L サイズ） PCL-CP300



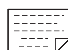
□ COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk



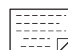
□ プリンターユーザーガイド（本書）



□ サポートガイド



□ 保証書



インクと用紙について（別売）

お使いになる前に、カラーインク／ペーパーセットを別途購入してください。

カラーインク／ペーパーセット			必要なペーパーカセット
製品名	用紙の大きさ	印刷できる枚数	
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	L サイズ	36	ペーパーカセット PCL-CP300（本製品に付属）
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP 3PACK		108	
カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	カードサイズ	36	ペーパーカセット PCC-CP300*
カラーインク／フルサイズラベルセット KC-18IF（全面シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）		18	
カラーインク／ペーパーセット KP-36IP（ポストカード）	ポストカードサイズ	36	ペーパーカセット PCP-CP300*
カラーインク／ペーパーセット KP-72IN（写真用紙）		72	

* カラーインク／ペーパーセットと一緒に、別途購入してください。

はじめにお読みください



著作権について

本製品で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



保証について

本製品の保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。



液晶モニター（画面）について

- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、印刷される画像に影響はありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。

このガイドの記載について

- 本プリンターのことを「セルフィー」または「本機器」と表記しています。
- セルフィーで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- このガイドでは、ボタンやボタンの周囲に表記されている絵文字を使って説明しています。詳しくは、「操作部」（p.6）を参照してください。
- 画面に表示される絵文字や文言は、［　］つきで示しています。
- ：注意事項を示しています。
- ：補足説明を示しています。
- （p.xx）：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。

もくじ

安全に使っていただくために

- ご使用の前に「安全に使っていただくために」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠ 警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**

電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **指定外の電源は使わない。**
- **分解、改造したり、加熱しない。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えない。**
- **落下などで破損したときは、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **水や海水などの液体で濡らさない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**

感電、火災の原因となります。
液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- **雷が鳴り出したら本機器や電源プラグに触れない。**

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭きとる。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。**
- **電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。**
- **電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。**

感電、火災の原因となります。

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠ 注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- **本機器の内部には手を入れない。**
- **付属の電源コードが足などに引っかからない場所に本機器を設置する。**

けがや本機器の故障の原因となります。

- **次の場所で使用・保管しない。**
  - **直射日光のあたるところ**
  - **40 度を超える高温になるところ**
  - **湿気やホコリの多いところ**
  - **振動が激しいところ**

感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。
本機器やアダプターが熱により変形することがあります。

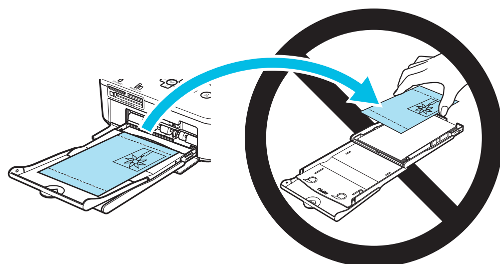
注意　物的損害を負う可能性がある内容です。

- **使用しないときや使い終わったら、コンセントから外す。**
- **布などをかけたまま使用しない。**

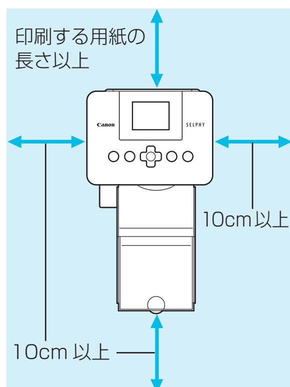
長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- **図のように、一部にしか画像が印刷されておらず余白が残っている用紙でも、一度印刷した用紙は、絶対に再使用しない。**

インクシートが用紙に貼りついたり、用紙が詰まったりして、本機器の故障の原因となります。



セルフィーを置こう

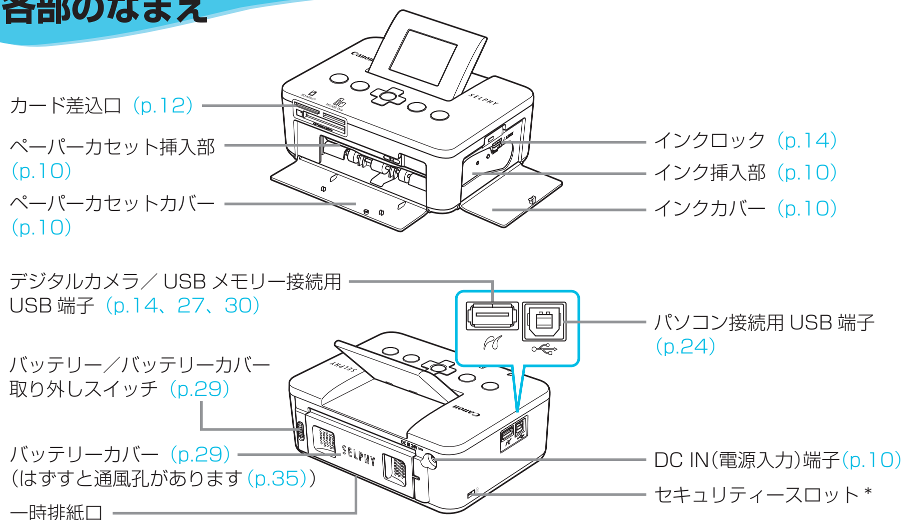


- 机などのしっかりしたものの上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には、絶対に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m 以上離してください。
- セルフィーの周囲は、10cm 以上あけてください。
- セルフィーのうしろは、印刷時に用紙が出たり入ったりするため、印刷する用紙の長さ以上あけてください。



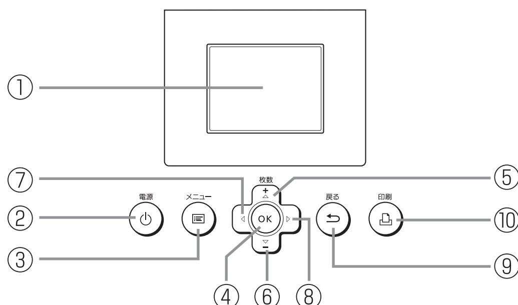
- モーターなどの強力な磁場を発生させる装置の近くにセルフィーを絶対に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビやラジオなどの近くにセルフィーを置かないでください。誤動作の原因となります。

各部のなまえ



* ケンジントンロックなどのセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

操作部



本書での表記		名称	機能
①	–	画面（液晶モニター）	画像や各種設定画面、エラーメッセージを表示します（p.32）。
②	⏻	電源ボタン	電源を入／切します（p.11）。
③	☰	メニューボタン	メニュー画面を表示します（p.11）。
④	**OK**	OK ボタン	選んだ項目を設定します。
⑤	▲	上／枚数＋ボタン	印刷枚数の指定や、設定項目を選びます。
⑥	▼	下／枚数－ボタン	印刷枚数の指定や、設定項目を選びます。
⑦	◀	左ボタン	表示画像を切り換えたり、設定値を変えたりします。
⑧	▶	右ボタン	表示画像を切り換えたり、設定値を変えたりします。
⑨	⮌	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ったり（p.7）、印刷を中止したりします（p.14）。
⑩	🖶	印刷ボタン	印刷をはじめます（p.14）。

画面の表示内容一覧



画面の表示を情報表示なしにする

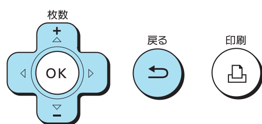
画面に表示される画像情報を非表示にして、画像を大きく表示することができます。

1 設定画面を表示する

- p.11 の手順 1 ～ 3 の操作を行います。

2 設定する





- ▲ か ▼ を押して［情報表示］を選びます。
- ◀ か ▶ を押して [切] を選び、⮌ を押すと設定されます。
- もう一度 ⮌ を押すと、画像表示画面に戻ります。

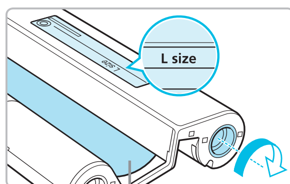


▶ 画面一杯に画像が表示され、印刷される範囲を示す枠が表示されます。

準備しよう

画像を印刷するための準備をします。なお、ここでの説明は、Lサイズのカラーインク／ペーパーセット（別売）（p.2）を使ったときを例に説明していますが、Lサイズ以外のカラーインク／ペーパーセットを使うときも、同じ操作で準備できます。

インクを準備しよう



インクシート

インクを確認する

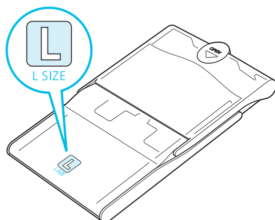
- 印刷する用紙とインクの「用紙サイズ表示」（L size、Card size など）があっていることを確認します。
- インクシートにたるみがないか確認します。たるみがあるときは、図のように軸を回してたるみをとります。
- 回しすぎると、枚数分の印刷ができなくなったり、シートが切れると印刷できなくなくなったりしますので、十分注意してください。



インクシートを引っ張ったり、触ったり、濡れた手でインクを持ったりしないでください。インクシートが切れたり、汚れや水滴がついたりすると、印刷できなくなります。

ペーパーカセットを準備しよう

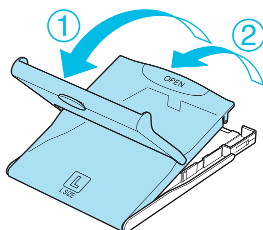
1



用紙サイズ表示を確認する

- 準備したインクとペーパーカセットの「用紙サイズ表示」（L SIZE、CARD SIZEなど）があっているか確認します。

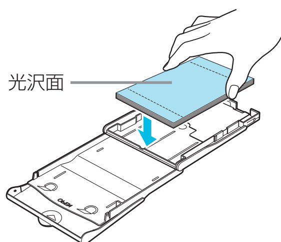
2



ふたを開ける

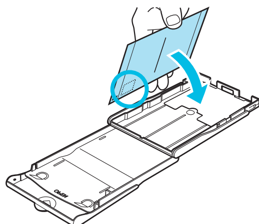
- ふたは 2 段階になっています。外ふたを開けてから①、中ふたを開けます②。

3



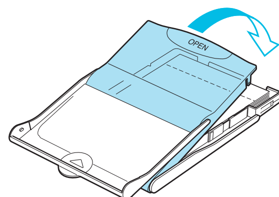
用紙を入れる

- 準備したペーパーカセット用の用紙を入れます。
- ペーパーカセットに入れられる用紙は 18 枚までです。19 枚以上の用紙を入れると、故障や誤動作の原因になります。
- 用紙を図のように持ち、光沢のある面を上にして入れます。（光沢のある面には触らないでください。きれいに印刷できなくなります）
- 用紙に「保護シート」が付いているときは、保護シートを取り除いて、用紙だけを入れます。



- 切手欄のあるポストカードサイズのときは、切手欄を図の向きにして入れます。

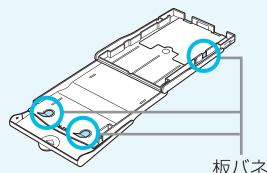
4



ふたを閉める

- 中ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。外ふたは印刷するときは開いたまま使います。

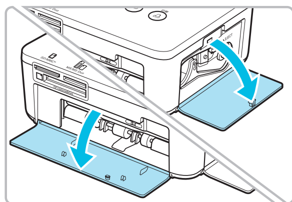
- 用紙は、必ずキヤノン純正の「カラーインク／ペーパーセット」に入っている、セルフィー CP シリーズ専用用紙をお使いください。専用用紙以外の用紙や郵便はがき、セルフィー ES シリーズ専用用紙は使えません。
- 以下のことは絶対に行わないでください。誤動作や故障の原因となります。
  - 用紙の表（光沢のある面）と裏を逆に入れる
  - 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離す
  - はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使う
  - 印刷前の用紙に文字などを書き込む
  - 一度印刷した用紙を再使用する
  - 使い切ったインクを再使用する
- ペーパーカセットの板バネには触らないでください。
  変形すると紙送りがうまくできなくなります。
- 用紙の表（光沢のある面）を触ったり、こすったり、濡れた手で用紙を持ったりしないでください。用紙の表に汚れや水滴がつくと、きれいに印刷できなくなります。



インクとペーパーカセットを入れよう



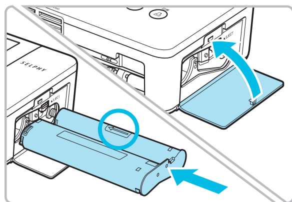
1



カバーを開ける

- ペーパーカセットカバーとインクカバーを開けます。

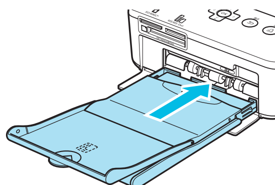
2



インクを入れる

- インクをインク上の矢印方向に、「カチッ」と音がして、ロックされるまで差し込みます。
- インクカバーを閉めます。

3



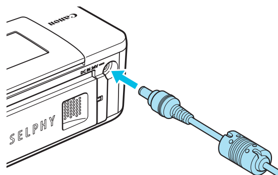
ペーパーカセットを取り付ける

- 外ふたが開いていることを確認して (p.8)、ペーパーカセットが突きあたるまで差し込みます。

電源をつなごう



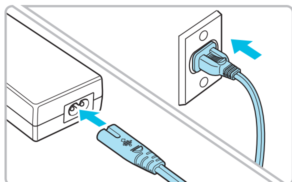
1



プラグをセルフィーにつなぐ

- アダプターのプラグをセルフィーの端子にしっかりと差し込みます。

2



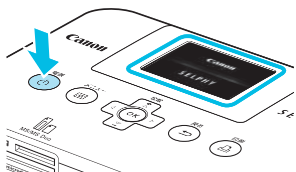
電源コードをつなぐ

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。

表示される言語を選ぼう

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。

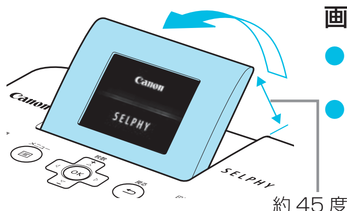
1



電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは ⏻ を押したままにして、画面の表示が換わったら ⏻ をはなします。

2

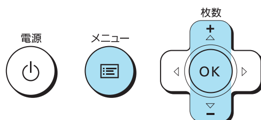


画面を見やすい位置に調整する

- 液晶モニターをおこして、画面を見やすい位置に調整します。
- 液晶モニターは約 45 度以上おこすと故障の原因となるため、絶対におこさないでください。

3

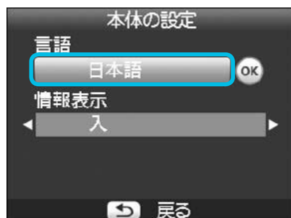


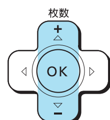


設定画面を表示する

- ☰ を押します。
- ▲ か ▼ を押して [本体の設定] を選び、**OK** を押します。

4

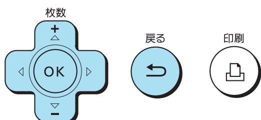




言語設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押して [言語] を選びます。
- **OK** を押します。

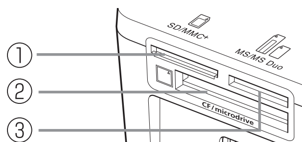
5



言語を選んで設定する

- ▲、▼、◀、▶ を押して言語を選び、**OK** を押します。
- ⮌ を 2 回押すと、手順 1 の画面に戻ります。

使えるカードと差し込み口を確認しよう



カード差し込み口		そのまま使えるカード	専用アダプター（市販品）を使うと使えるカード
①	SD/MMC+	● SD（エスディー）メモリーカード ● SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード ● SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード ● MMC（エムエムシー）カード *1 ● MMCplus（エムエムシープラス）カード ● HC MMCplus（エイチシーエムエムシープラス）カード	● miniSD（ミニエスディー）メモリーカード ● miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード ● microSD（マイクロエスディー）メモリーカード ● microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード ● microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード ● RS-MMC（アールエスエムエムシー）カード *2 ● MMCmobile（エムエムシーモバイル）カード ● MMCmicro（エムエムシーマイクロ）カード
②	CF/microdrive	● CF（シーエフ）カード ● マイクロドライブ	● xD-Picture Card（エックスディーピクチャーカード）*3
③	MS/MS Duo	● メモリースティック ● メモリースティック PRO（プロ） ● メモリースティック デュオ ● メモリースティック PRO（プロ）デュオ	● メモリースティックマイクロ

*1「MMC」は、「MultiMediaCard」の略です。
*2「RS-MMC」は、「Reduced-Size MultiMediaCard」の略です。
*3 動作確認済みアダプター：富士フイルム株式会社 DPC-CF



- アダプターが必要なカードは、必ずアダプターを使ってカード差し込み口に差し込んでください。アダプターを使わずに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
- 撮影した機器で初期化したカードをお使いください。パソコンで初期化したカードでは、画像を認識できないことがあります。



カードやアダプターの使いかたについては、カードやアダプターの使用説明書を参照してください。

USB メモリーについて



USB メモリー（市販品）をセルフィーにつないで、USB メモリー内の画像を印刷することもできます（p.14）。

印刷できる画像を確認しよう

セルフィーで印刷できるのは、Exif 規格に準拠した JPEG 画像です。

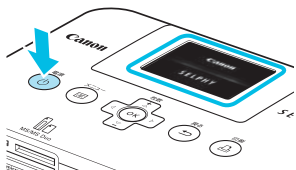


パソコンで編集した画像や、撮影時の画像サイズによっては正しく表示・印刷できないことがあります。

画像を選んで印刷しよう

画像を選び、印刷枚数を指定して印刷することができます。なお、ここでの説明は、SD カードを使ったときを例に説明していますが、SD カード以外のカードも、同じ操作で印刷できます。

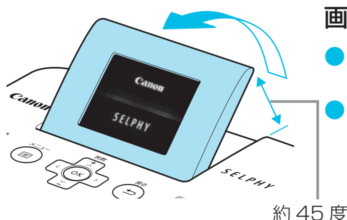
1



電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは ⏻ を押したままにして、画面の表示が換わったら ⏻ をはなします。

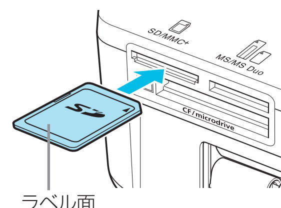
2



画面を見やすい位置に調整する

- 液晶モニターをおこして、画面を見やすい位置に調整します。
- 液晶モニターは約 45 度以上おこすと故障の原因となるため、絶対におこさないでください。

3



カード差し込み口にカードを 1 枚差し込む

- 印刷したい画像の入ったカードを、対応するカード差し込み口の奥に突きあたるまで差し込みます。
- ▶ 手順 4 の画面（画像表示画面）（p.7）が表示されます。

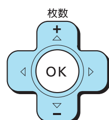
4

5



表示している画像の印刷枚数

印刷指定した総画像数



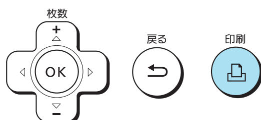
画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押して印刷したい画像を選びます。
- ◀ か ▶ を押したままにすると、5 枚先の画像が表示されます。

印刷枚数を選ぶ

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- ▲ か ▼ を押したままにすると、5 枚ずつ枚数が増減します。
- 1 画像につき 99 枚まで指定できます。
- 別の画像もいっしょに印刷するときは、もう一度、手順 4 と 5 の操作を繰り返します。

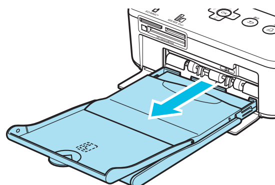
6



印刷する

- を押すと印刷がはじまります。
- 印刷中にセルフィーの背面から用紙が一時的に出てきますが、印刷が終わってペーパーカセットの上に出てくるまでは、用紙に触れないでください。
- 印刷された用紙は、ペーパーカセットの上に出てきますが、19 枚以上はためないようにしてください。
- 印刷を途中で中止するときは、を押します。

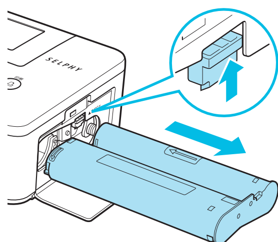
7



用紙を入れる

- 用紙がなくなったら、ペーパーカセットをセルフィーから抜きます。
- 新しい用紙を入れて （p.8）、もう一度セルフィーに差し込みます （p.10）。

8



インクをかえる

- インクがなくなったら、インクカバーを開けて、ロックを図の方向へ動かすとインクが出てきます。
- 新しいインクを入れます （p.8、10）。



電源を入れて、セルフィーの動作音がしている間や印刷中は、「ペーパーカセットを抜く」、「インクカバーを開ける」、「カードを抜く」ことは、絶対にしないでください。故障の原因となります。

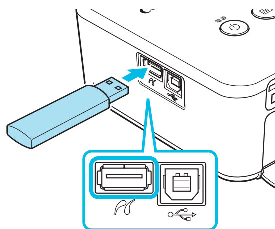


- カードに大量の画像が保存されているときは、表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 印刷指定した総画像数が「0 枚」のときに を押すと、画面に表示されている画像が 1 枚印刷されます。
- ［DPOF 印刷をします］の画面が表示されたときは、「デジタルカメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）」（p.28）を参照してください。

USB メモリーの画像を印刷しよう



USB メモリー（市販品）内の画像も、カード内の画像と同じように印刷できます。



USB メモリーを差し込む

- 図のように USB メモリーを差し込みます。
- 以降の操作は、カード内の画像を印刷するときと同じ操作で印刷できます （p.13 ～ 14）。

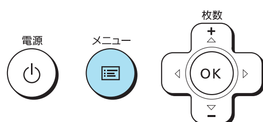


- お使いになる USB メモリーによっては、抜き差ししづらかったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
- USB メモリーの使いかたについては、お使いの USB メモリーの使用説明書を参照してください。

すべての画像を印刷しよう

カード内に保存されているすべての画像を、一括して印刷することができます。

1

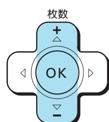


メニューを表示する

- ▤ を押します。

2

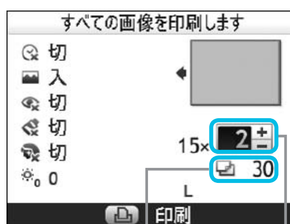




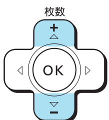
設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押して［すべてを印刷］を選び、**OK** を押します。

3



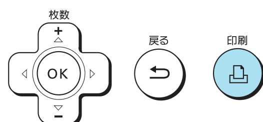
必要な用紙の枚数　印刷部数



印刷部数を選ぶ

- ▲ か ▼ を押して印刷部数を指定します。
- 部数は 99 部まで指定できます。カード内に保存されている画像が 1000 枚を超えるときは、撮影日時が新しい順に 999 枚までの画像が印刷されます。

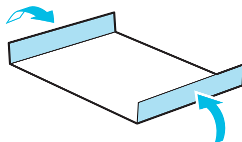
4



印刷する

- 🖶 を押すと印刷がはじまります。
- 印刷を途中で中止するときは、⮌ を押します。

印刷した写真を保管しよう



- 写真の両側にミシン目があるときは、ミシン目を折り曲げると切り取ることができます。
- 写真に文字を書くときは、油性ペンで書いてください。
- 印刷面の変色を防ぐため、「40 度を超える高温になるところ」、「湿気やホコリの多いところ」、「直射日光があたるところ」では、写真を保管しないでください。
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に「粘着テープなどを貼る」、「ビニール製のデスクマット、名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる」、「アルコールなどの揮発性溶剤をつける」、「他のものに密着させたまま放置する」などはしないでください。
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。

保存状態や時間の経過によって、印刷面が変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

印刷が終わったらかたづけよう

印刷が終わったら以下の手順でかたづけ、保管します。

- 電源を切り (p.11)、カードや USB メモリーを抜きます。
- 画面（液晶モニター）をおこしているときは、たおして収納します。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜き、アダプターのプラグをセルフィーから抜きます。
- アダプターが熱いときは、冷ましてからかたづけてください。
- ペーパーカセットを抜き、ペーパーカセットカバーを閉めます。残った用紙はペーパーカセットに入れたまま外ふたを閉め、ホコリが入らない暗いところに保管します。
- インクは、セルフィーに入れたまま保管します。
- セルフィーは水平にして、ホコリが入らない暗いところに保管します。

- セルフィーを使わないときは、画面（液晶モニター）を必ず収納してください。
- セルフィーにホコリが入ったり、用紙やインクにホコリがついたりすると、きれいに印刷できなくなります。

- 複数のインクがあるときは、1 つはセルフィーに入れて、その他はホコリがつかないよう箱や袋などに入れ、暗いところに保管してください。
- 包装から出す前の用紙やインクは、包装を開けず、暗いところに保管してください。

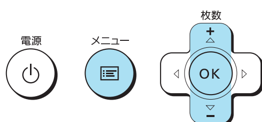
いろいろな印刷をしよう

撮影した日付を入れて印刷したり、画像の色調を変えて印刷するなど、いろいろな印刷をすることができます。また、設定した内容は、印刷するすべての画像に反映されるため、画像ごとに設定する必要はありません。

設定しよう

1



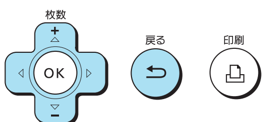


設定画面を表示する

- ☰ を押します。
- ▲ か ▼ を押して［印刷の設定］を選び、**OK** を押します。

2

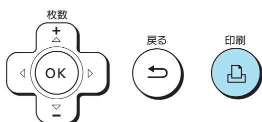




項目を選んで設定を変える

- ▲ か ▼ を押して各項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、⮌ を押すと設定されます。
- もう一度 ⮌ を押すと、画像表示画面に戻ります。
- 設定できる項目は、p.18 ～ 21 を参照してください。

3



印刷する

- 印刷する画像（p.13）と印刷する枚数（p.13）を選び、🖶 を押して印刷します。

日付を入れて印刷しよう（日付）





- デジタルカメラで記録された撮影日を、写真に入れて印刷することができます。
- 切（初期設定項目）、入



- セルフィーの電源を切ると、[切] に戻ります。
- 印刷される日付は、デジタルカメラが撮影時に画像へ記録した日付です。そのため、セルフィーでは変えられません。
- [日付スタイル] (p.21) で、日付のスタイル（並び順）を変えることができます。
- [レイアウト] (p.19) で [インデックス]、[証明写真]、[シャッフル] を選んでいるときは、日付は印刷されません。

自動補正で最適な写真にしよう（自動写真補正）





- 最適な画質となるよう、セルフィーが自動的に画質を補正します。
- 切、入（初期設定項目）



画像によっては、正しく補正されないことがあります。



- セルフィーの電源を切ると、[入] に戻ります。
- [レイアウト] (p.19) で [インデックス] を選んでいるときは、[自動写真補正] は反映されません。
- 補正の効果は、レイアウトや印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

人の赤目を補正して印刷しよう（赤目補正）

- 目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
- 切（初期設定項目）、入



赤目以外の部分を誤って補正することがあります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ [入] に設定してください。



- セルフィーの電源を切るか、カードを抜くと、[切] に戻ります。
- 「顔が画面全体に対して極端に小さい／大きい」、「顔が暗い／明るい」、「顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている」などの画像では、赤目が検出されなかったり、思いどおりに補正されないことがあります。
- [レイアウト] (p.19) で [2 面配置]、[4 面配置]、[8 面配置]、[インデックス] を選んでいるときは、赤目補正は行われません。
- [マイカラー] (p.20) で、[セピア]、[白黒] を選んでいるときは、赤目補正は反映されません。
- 補正の効果は、レイアウトや印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

レイアウトを選んで印刷しよう（レイアウト）



● 1 枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。印刷枚数を指定した画像が（p.13）、設定したレイアウトで印刷されます。

1 面配置（初期設定項目）	1 枚の用紙に 1 枚の画像が印刷されます	インデックス	画像がインデックス印刷されます
2 面配置	1 枚の用紙に 2 枚の画像が印刷されます	証明写真	証明写真が印刷されます
4 面配置	1 枚の用紙に 4 枚の画像が印刷されます	シャッフル	自動的にいろいろな大きさで配置された画像が印刷されます（p.20）
8 面配置 *	1 枚の用紙に 8 枚の画像が印刷されます		

* カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）（p.2）では、[8 面配置］に設定してください。



- セルフィーの電源を切ると、[1 面配置] に戻ります。
- 電源を切っても、設定したレイアウトを記憶させることができます。レイアウトを記憶させるときは、セルフィーの電源が切れている状態で 、▲、 の 3 つのボタンを押したまま、 を押して電源を入れます。もう一度、記憶されないように戻すときは、セルフィーの電源が切れている状態で 3 つのボタンを押したまま、 を押して電源を入れます。
- 画像の配置は指定できません。
- レイアウトの設定によっては、[日付]（p.18）、[自動写真補正]（p.18）、[赤目補正]（p.18）、[フチ]（p.20）、[美肌]（p.21）、[明るさ補正]（p.21）の設定が反映されないことがあります。
- [インデックス］を選んでいるときに［すべてを印刷］（p.15）を行うと、カード内のすべての画像を一覧で印刷できます。



証明写真を印刷しよう（証明写真）



● 左の写真のような証明写真として撮影した画像を、1 枚の用紙に 3 種類の大きさで、それぞれ 2 枚ずつ、合計 6 枚配置して印刷することができます。
●「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙（p.2）に印刷することができます。

用紙	写真の大きさ（mm）		
L サイズ	45 × 35	40 × 30	30 × 24
ポストカードサイズ	60 × 51	45 × 35	40 × 30



用途によっては、正式な証明写真としてお使いいただけないことがあります。詳しくは、写真のご使用先にお問い合わせください。

いろいろな大きさの画像を配置して印刷しよう（シャッフル）





- 画像を自動的にいろいろな大きさで配置して、印刷することができます。
- 1 枚の用紙に、最大 8 枚または最大 20 枚の画像を配置することができます。
- 「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙（p.2）に印刷することができます。



- 「設定しよう」（p.17）の手順 2 の画面で、▲ か ▼ を押して［レイアウト］を選びます。◀ か ▶ を押して［シャッフル］を選び、**OK** を押します。
- 表示される左の画面で ▲ か ▼ を押して項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、⮌ を押すと設定されます。
- ⮌ を 2 回押すと、画像表示画面に戻ります。



- 画像の配置は指定できません。
- ［画像の数］で［20］を選んだときは、印刷がはじまるまでに時間がかかることがあります。

フチあり／なしで印刷しよう（フチ）







- フチありまたはフチなしで画像を印刷することができます。
- フチなし（初期設定項目）、フチあり



- セルフィーの電源を切ると、［ フチなし］に戻ります。
- カードサイズの用紙（p.2）では、［ フチあり］を選んでいても、［レイアウト］（p.19）で［ 8 面配置］を選ぶと、フチなしの画像が印刷されます。

画像の色調を変えて印刷しよう（マイカラー）



- 通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

切 （初期設定項目）	–	ポジフィルム	ポジフィルムのように自然で色鮮やかな色調になります
くっきり	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります	セピア	セピア調になります
すっきり	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色調になります	白黒	白黒になります



- セルフィーの電源を切ると、［ 切］に戻ります。
- マイカラーの設定によっては、［赤目補正］（p.18）の設定が反映されないことがあります。

人の肌がきれいに見える写真にしよう（美肌）



- 人の肌がきれいに見える写真にすることができます。
- 切（初期設定項目）、 入



- 印刷が終わる、セルフィーの電源を切る、カードを抜くなどの操作を行うと、［ 切］に戻ります。
- 人の肌以外を補正したり、思ったような効果が得られないことがあります。
- ［レイアウト］（p.19）で［ インデックス］を選んでいるときは、［美肌］は反映されません。

明るさを補正して印刷しよう（明るさ補正）









- 画像の明るさを、± 3 の範囲で補正することができます。
- ＋の数値が大きくなるほど明るくなり、－の数値が大きくなるほど暗くなります。



- セルフィーの電源を切ると、［0］に戻ります。
- ［レイアウト］（p.19）で［ インデックス］を選んでいるときは、［明るさ補正］は反映されません。

日付スタイル（並び順）を選んで印刷しよう（日付スタイル）









- 日付を入れて印刷（p.18）するときの、日付の並び順を変えることができます。
- 年 / 月 / 日（初期設定項目）、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年



設定した内容は、セルフィーの電源を切ったり、カードを抜いたりしても記憶されています。

パソコンの画像を印刷しよう

パソコンにセルフィーをつないで付属のソフトウェアを使うと、セルフィー単体ではできない、画像を一覧しながらの印刷や、いろいろな印刷ができます。また、音声による操作案内もありますので、パソコンに不慣れな方も、かんたんに印刷することができます。



一覧から好みの画像を選んで印刷

- 画像を一覧しながら、印刷したい画像を選んで、まとめて印刷することができます。



飾りをつけて印刷

- 画像にフレームやスタンプをつけて印刷することができます。また、画像に文字を入れて印刷することもできます。



カレンダー印刷

- 画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

使えるパソコンを確認しよう

	Windows	Macintosh
OS	Windows 7 Windows Vista Service Pack 1、Service Pack 2 Windows XP Service Pack 3	Mac OS X v10.4 ～ v10.6
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること	
CPU	Pentium 1.3GHz 以上	PowerPC G4/G5 または Intel プロセッサー
RAM	Windows 7（64bit）：2GB 以上 Windows 7（32bit）、 Vista（64bit、32bit）：1GB 以上 Windows XP：512MB 以上	Mac OS X v10.4 ～ v10.5：512MB 以上 Mac OS X v10.6：1GB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	120MB 以上 *	140MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上	1,024 × 768 ドット以上

* Windows XP では、Microsoft .NET Framework 2.0（最大 280MB）以上のインストールが必要です。お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

ソフトをインストールして立ち上げよう

Windows Vista と Mac OS X 10.5 を使ったときを例に説明しています。

用意するもの

- パソコン
- 付属の CD-ROM（COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk）（p.2）
- USB ケーブル（長さが 2.5m 以下の市販品）（セルフィー側端子は Type B）

1

ソフトウェアをインストールする

Windows



- CD-ROM をパソコンのドライブに入れて、左の画面が表示されたら［おまかせインストール］をクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって進めてください。



▶ インストールを進めると左の画面が表示されます。

Macintosh



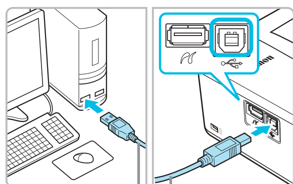
- CD-ROM をパソコンのドライブに入れ、CD-ROM 内の［ ］をダブルクリックします。
- 左の画面が表示されたら、［インストール］をクリックして、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- インストールが終わると表示される画面で［はい］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

2

セルフィーの準備をする

- セルフィーの電源が入っているときは電源を切り、カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます（p.8 ～ 10）。

3

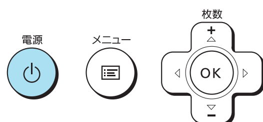


市販の USB ケーブル

セルフィーとパソコンをつなぐ

- USB ケーブルでセルフィーとパソコンをつなぎます。
- USB ケーブルの使いかたや、パソコンとのつなぎかたについては、それぞれの使用説明書を参照してください。

4



セルフィーの電源を入れる

- ⏻ ボタンを押して、電源を入れます。

Windows

- インストールが終わると表示される画面で［再起動］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

5



ソフトが立ち上がったことを確認する

▶ セルフィーとパソコンが通信できる状態になると、ソフトが立ち上がって、左の画面が表示されます。

- 次回使うときは、手順 2 ～ 4 の操作を行うと、ソフトが自動的に立ち上がって使えるようになります。

Windows

- 手順 5 の画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［SELPHY Photo Print］▶［SELPHY Photo Print］を選びます。

Macintosh

- 手順 5 の画面が表示されないときは、下記の手順でプリンターの登録操作を行います。
  メニューの［ ］を選び、［システム環境設定］▶［プリントとファクス］の順にクリックして［プリントとファクス］画面を表示します。［＋］を押して表示される画面で［CP800］を選び、［追加］をクリックします。
  登録操作を終えたら、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［SELPHY Photo Print］アイコンをクリックすると、手順 5 の画面が表示されます。



- USB ハブを介してセルフィーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
- 他の USB 機器（USB マウス、USB キーボードを除く）と同時に使うと、正しく動作しないことがあります。他の USB 機器をパソコンから外して、再度つないでください。
- セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態でパソコンをスタンバイ状態にしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スタンバイ状態から回復してください。
- パソコンの操作方法については、お使いのパソコンの使用説明書を参照してください。

ソフトを使って画像を印刷しよう

インストールしたソフト（SELPHY Photo Print）を使って、パソコンに保存されている画像を印刷することができます。
ここでは、画像を一覧しながら印刷したい画像を選んでまとめて印刷することができる、[そのまま印刷する]の機能について説明します。なお、必要な操作は音声で案内されますので、スピーカーのあるパソコンでは、音声が出るように設定することをおすすめします。

1



印刷メニューを表示する

- ［印刷メニューへ］をクリックします。
- 印刷するための準備（ペーパーカセット、インクを入れるなど）ができていないときは、［印刷メニューへ］がクリックできません。音声の案内や、画面の表示にしたがって、必要な操作を行ってください。

2



印刷方法を選ぶ

- ［そのまま印刷する］をクリックします。
- ［飾り付けて印刷する］をクリックすると、画像にフレーム、スタンプ、ふきだしをつけて印刷することができます。
- ［カレンダーを印刷する］をクリックすると、画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

3

画像を選ぶ

▶ Windows のときは［マイピクチャ］フォルダ、Macintosh のときは［ピクチャ］フォルダ内の画像が、一覧表示されます。

表示する画像の条件を選べます。



このボタンを押して表示される画面でフォルダを選ぶと、別のフォルダに保存されている画像を表示することができます。

- 印刷する画像を選んでクリックします。

▶ 背景の色が変わり、印刷する画像に指定されます。

- 同じ操作で、印刷したいすべての画像をクリックします。
- もう一度クリックすると、背景の色が元に戻り、印刷の指定が解除されます。
- 画像を選んだら、［次へ］をクリックします。

4


［−］か［+］を押して印刷する枚数を指定します。

印刷する枚数を指定して印刷する

- 画像ごとに、印刷する枚数を指定します。
- Windows では、［印刷］をクリックすると印刷がはじまります。
- Macintosh では、［印刷］をクリックすると表示される画面で、［プリント］をクリックすると印刷がはじまります。

5

終了する

Windows

- すべての印刷が終わったら、画面右上の ☒ をクリックします。

Macintosh

- すべての印刷が終わったら、画面左上の ● をクリックします。

音声ガイドを切る

お使いのパソコンによっては、音声ガイドが正しく再生できないことがあります。音声ガイドが聞きづらいときは、以下の手順で、音声ガイドを［切］にしてお使いください。



音声ガイドを切る

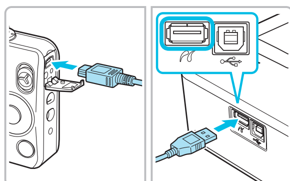
- 「ソフトを使って画像を印刷しよう」（p.25）の手順 1 の画面で、ラジオボタンの［切］を選びます。
- ▶ 音声ガイドが［切］になります。

デジタルカメラとつないで印刷しよう

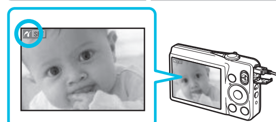
PictBridge に対応したデジタルカメラをつなぐと、デジタルカメラで選んだ画像を印刷することができます。ここでは、例としてキヤノン製コンパクトデジタルカメラをつないだ印刷方法を説明しますが、お使いになるデジタルカメラと操作方法が異なるときは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

1 セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

2 デジタルカメラに付属のインターフェースケーブル（USB ケーブル）でセルフィーとデジタルカメラをつなぐ



3 セルフィー、デジタルカメラの順に電源を入れ、デジタルカメラの画像を再生する



▶ お使いになるデジタルカメラによっては、デジタルカメラの画面に が表示されます。

4 デジタルカメラで画像を選び、印刷に必要な操作をする

- デジタルカメラを操作して印刷をはじめます。

▶ 印刷がはじまります。

- すべての印刷が終わったら、セルフィーとデジタルカメラの電源を切り、ケーブルを外します。

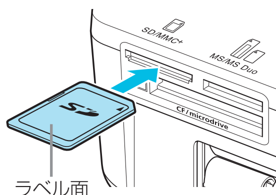


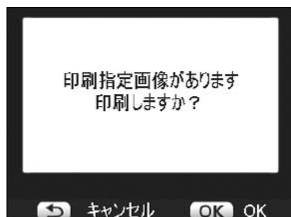
- 印刷中は、セルフィーの ⮌ で印刷を中止できません。デジタルカメラを操作して中止してください。
- PictBridge とは､カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定した統一規格です。メーカーや機種を問わず、デジタルカメラやビデオカメラとプリンターをつなぎ、パソコンを経由せずにダイレクトプリントすることを目的としたものです。

デジタルカメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）

印刷する画像の指定や印刷時の設定などを、あらかじめデジタルカメラで行い、まとめて画像を印刷することができます。設定方法については、お使いのデジタルカメラの使用説明書を参照してください。

1

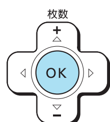




デジタルカメラで DPOF 設定したカードを、カード差し込み口に差し込む

▶［印刷指定画像があります　印刷しますか？］と画面に表示されます。

2



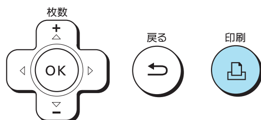
OK を押す

3



設定の内容を確認する

4



印刷する

- を押すと印刷がはじまります。

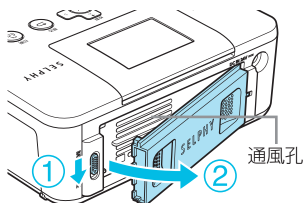
- 日付や画像番号は、デジタルカメラで設定した DPOF 情報になります（セルフィーでは変えられません）。
- キヤノン製デジタルカメラで［印刷タイプ］を［スタンダード］に設定しているときは、「いろいろな印刷をしよう」（p.17 ～ 21）の機能を適用することができます。
- 手順 3 の画面は、 を押して［DPOF 印刷］を選び、**OK** を押しても表示できます。
ただし、デジタルカメラで DPOF の設定をしたカードを差し込まないと、メニュー画面に［DPOF 印刷］は表示されません。

バッテリーを使って印刷しよう

バッテリーパック NB-CP2L（別売）を使うと、コンセントのない場所でも画像を印刷することができます。
なお、フル充電したバッテリーで、L サイズの用紙を約 54 枚印刷 * することができます。
* 印刷枚数は当社測定条件によります。また、印刷条件により異なることがあります。

バッテリーを取り付けよう 

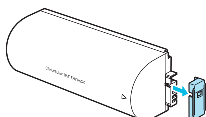
1



バッテリーカバーを取りはずす

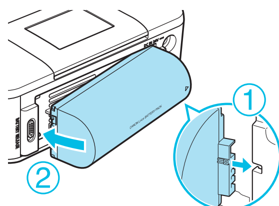
- ①の方向へスイッチを動かしたまま、②の方向へ動かしてはずします。

2



バッテリーの端子カバーをはずす

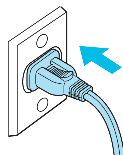
3



バッテリーを取り付ける

- ①の方向へ差し込んだあと、②の方向へ「カチッ」と音がして、ロックされるまで動かして取り付けます。

バッテリーを充電しよう 



セルフィーに電源をつなぐ （p.10）

▶ 充電がはじまり、［ ］が画面に表示されます。
▶ 充電は約 4 時間で完了し、［ ］が消えます。
- 充電中にセルフィーを使うときは、電源を入れる （p.11）と使うことができます（充電は中断されます）。また、電源を切る （p.11）と［ ］が表示され、充電が再開されます。



- バッテリーの注意事項については、バッテリーに付属の使用説明書を参照してください。
- ［ ］が表示されている状態で、⏻ 以外のボタンを約 3 秒以上押すと、［ ］の表示が消えます。また、画面が消えている状態でも充電中のときは、⏻ 以外のボタンを押すと、約 10 秒間だけ［ ］が表示されます。
- セルフィーを約 5 分以上使わないと、節電のため自動的に電源が切れます。
- ［ ］が赤く表示されたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

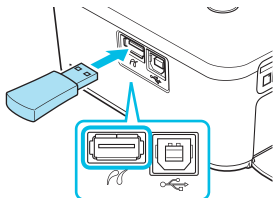
携帯電話の画像を印刷しよう

Bluetooth ユニット BU-30（別売）を使うと、Bluetooth 対応の携帯電話で撮った画像を無線で印刷することができます。なお、携帯電話の使いかたや、Bluetooth による印刷方法については、お使いの携帯電話の使用説明書を参照してください。

1

セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

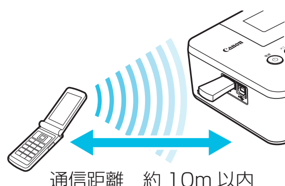
2



Bluetooth ユニットを取り付ける

- BU-30 についているカバーを取り外し、図のように差し込みます。
- セルフィーの電源を入れます （p.11）。

3



携帯電話からセルフィーに画像を送る

- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅します。
- ▶ 通信が終わると、印刷がはじまります。



- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅しますが、通信が中断されると Bluetooth ユニットの点滅が消えます。そのときは、携帯電話に表示されるメッセージにしたがって、もう一度操作してください。
- 通信距離が 10 m以下でも、下記条件では電波状況が変わるため、正しく通信できなかったり、通信速度が遅くなったりすることがあります。
  - Bluetooth ユニットと携帯電話の間に障害物がある
  - 磁場、静電気、電波障害が発生している場所で使用している
- 転送できる画像のファイルサイズは、最大で約 2 ～ 3MB です(お使いの携帯電話によって異なります)。
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷がはじまるまで時間がかかることがあります。
- お使いの携帯電話の機種によっては、カードに保存した画像を印刷できないことがあります。
- お使いになるカラーインク／ペーパーセット （p.2） によっては、画像の上下左右が切り取られて印刷されることがあります。



- 携帯電話から接続先の機種名を選ぶときは、「Canon CP800（XX:XX:XX）（X は数字）」を選んでください。
- パソコンとセルフィーを無線で通信させることはできません。
- 動画やメール、電話帳の内容、インターネットやメール添付の URL からダウンロードした画像は印刷できません。
- 印刷される画像の向きはセルフィーで自動的に設定されます。
- 動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/cpp でご確認ください。

故障かな？と思ったら

「セルフィーが故障したのかな？」と考える前に、下記の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

●電源が入らない

- 電源が正しくつながっているか確認してください（p.10）。
- 画面が表示されるまで、⏻ を押したままにしてください（p.11）。
- バッテリー（別売）をお使いのときは、充電されたバッテリーを使ってください（p.29）。

印刷

●印刷できない

- セルフィーの電源が入っているか確認してください（p.11）。
- インクやペーパーカセットが正しく入っているか確認してください（p.10）。
- インクがないときは新しいインクに交換し、用紙がないときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください（p.14）。
- 用紙とペーパーカセット、インクの組み合わせが正しいか確認してください（p.8）。
- デジタルカメラやカード、パソコンを同時につないでいると正しく印刷できないことがあります。複数つないでいる機器を取り外してください。
- インクシートがたるんでいないか確認してください（p.8）。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください（p.9）。
- セルフィーは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。パソコンにつないでいるときは、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

カードや USB メモリー内の画像が表示されない／印刷できない

- カードが正しい差し込み口に、ラベル面を上にして奥まで入っているか確認してください（p.12、13）。
- USB メモリーが正しい差し込み口に、正しい向きで奥まで入っているか確認してください（p.14）。
- 対応画像か確認してください（p.12）。
- 専用のアダプターを使わずに、カードをカード差し込み口に差し込んでいないか確認してください（p.12）。

デジタルカメラから印刷できない

- デジタルカメラが PictBridge に対応しているか確認してください（p.27）。
- セルフィーとデジタルカメラが正しくつながっているか確認してください（p.27）。
- デジタルカメラのバッテリーや電池の残量を確認してください。残量がないときは、フル充電されたバッテリーまたは新品の電池に取りかえてください。

パソコンから印刷できない

- 正しい手順でソフトウェアをインストールしているか確認してください（p.23）。
- セルフィーとパソコンを、USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください（p.24）。
- Windows をお使いのときは、プリンターがオフラインになっていないか確認してください。
  オフラインになっているときは、プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Macintosh をお使いのときは、プリンタリストにお使いのセルフィーが登録されているか確認してください（p.24）。

●日付印刷ができない

カードや USB メモリー内の画像に日付を入れて印刷できない

- 日付を入れて印刷する設定を行っているか確認してください（p.28）。
  DPOF 印刷を行うときは、日付の設定は DPOF を設定したデジタルカメラで行います。

携帯電話内の画像に日付を入れて印刷できない
- 携帯電話の画像（p.30）は、日付を入れて印刷できません。

デジタルカメラ内の画像に日付を入れて印刷できない
- デジタルカメラで日付の設定が［入］になっているか確認してください。なお、「標準設定」に設定したときは、セルフィーの日付印刷の設定が反映されます。

●きれいに印刷できない
- インクシートや用紙が汚れていないか確認してください。
- セルフィー内部にホコリなどが付着していないか確認してください（p.35）。
- セルフィーに結露が発生していないか確認してください（p.35）。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていないか確認してください（p.5）。

●パソコンの画面の色と印刷された色が違う
- パソコンの画面と印刷では、発色の方法が異なります。また、画面を見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、画面の色の調整によっても違ってきます。

●パソコンで印刷中断後に再開したら、すでに印刷した画像が印刷されてしまった
- Macintosh をお使いのときは、印刷を中断したあとで再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

用紙

●用紙がカセットに入らない
- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズがあっているか確認してください（p.2）。

●きちんと紙送りされない／よく紙が詰まる
- 用紙やペーパーカセットが正しくセットされているか確認してください（p.8、10）。
- ペーパーカセットに 19 枚以上の用紙を入れていないか確認してください。
- ペーパーカセットの上に印刷済みの用紙を 19 枚以上ためていないか確認してください。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください（p.9）。

●枚数分印刷できない／用紙があまる
- 「印刷中に印刷を中止する」、「インクシートを引っ張る」などの操作を行うとインクを消費します。また、複数枚を印刷している途中で用紙がなくなったときに、インクを抜いても、インクを消費しますので、用紙を補充するときは、インクを抜かずにペーパーカセットだけを抜いて、用紙を補充してください。

●用紙が出てこない
- 用紙の一部がセルフィーの前や後ろ（一時排紙口）（p.6）より出ているときは、用紙を持って取り出してください。ただし、用紙を軽くつまむ程度の力で取り出せないときは、絶対に無理に引っ張らないでください。そのときは、電源を一度切り、もう一度入れなおす操作を、用紙が出てくるまで繰り返してください。

エラーメッセージが表示されたら

セルフィーに不具合が発生すると、画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージと一緒に対応方法が表示されたときは、対応方法にしたがって操作してください。また、エラーメッセージのみのときは、「故障かな？と思ったら」（p.31）の例を参考に確認してください。
なお、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。



セルフィーとデジタルカメラをつないでいるときは、デジタルカメラの画面にもエラーメッセージが表示されることがありますので、あわせて確認してください。

主な仕様

SELPHY CP800

印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコートつき）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調色	256 階調／色	
インク	専用カラーインク（Y/M/C ／オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ、L サイズ、カードサイズ（全面シール、8 分割シール含む）	
印刷サイズ	**フチなし**	**フチあり**
ポストカードサイズ	100.0 × 148.0mm	91.4 × 121.9mm
L サイズ	89.0 × 119.0mm	79.2 × 105.3mm
カードサイズ	54.0 × 86.0mm	50.0 × 66.7mm
（8 分割シール 1 枚あたり）	22.0 × 17.3mm	－
印刷時間 *1	**メモリーカード、USB メモリー、カメラ接続時（PictBridge）の印刷時間**	
ポストカードサイズ	約 47 秒	
L サイズ	約 39 秒	
カードサイズ	約 24 秒	
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
画面	チルト式 2.5 型 TFT 液晶カラーモニター	
インターフェース		
USB	PictBridge 対応機器：TypeA パソコン接続時：TypeB	
無線	Bluetooth*2（プリントビーム）	
メモリーカード	CF（シーエフ）カード、マイクロドライブ、xD-Picture Card（エックスディーピクチャーカード）*3、SD（エスディー）メモリーカード、SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード、SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード、MMC（エムエムシー）カード、MMCplus（エムエムシープラス）カード、HC MMCplus（エイチシーエムエムシープラス）カード、miniSD（ミニエスディー）メモリーカード *3、miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード *3、microSD（マイクロエスディー）メモリーカード *3、microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード *3、microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード *3、RS-MMC（アールエスエムエムシー）カード *3、MMCmobile（エムエムシーモバイル）カード *3、MMCmicro（エムエムシーマイクロ）カード、メモリースティック、メモリースティック PRO（プロ）、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO（プロ）デュオ、メモリースティックマイクロ *3	
USB メモリー	FAT ／ exFAT のみ対応	
動作温度	5 ～ 40℃	
動作湿度	20 ～ 80%	
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W バッテリーパック NB-CP2L（別売）	
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）	
大きさ	177.0 × 134.6 × 68.8mm	
質量（本体のみ）	約 940g	

*1 イエロー面の印刷開始から排紙完了まで。
*2 Bluetooth ユニット BU-30（別売）が必要。
*3 専用アダプター（市販品）が必要。

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W



定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 1.5A（100V）～ 0.75A（240V）
定格出力	DC24V、2.2A
使用温度範囲	0 ～ 40℃
質量	約 310g

バッテリーパック NB-CP2L（別売）



形式	リチウムイオン電池
公称電圧	DC22.2V
公称容量	1200mAh
充放電回数	約 300 回
使用温度範囲	5 ～ 40℃
大きさ	110.0 × 40.7 × 37.5mm
質量	約 230g

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。
使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

日ごろの取り扱いについて

- 強い力や振動を加えないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。外装が変質することがあります。
- 周囲の温度によっては、セルフィーが一定温度以上になると一時的に印刷が停止しますが、故障ではありません。温度が下がると印刷が再開されますので、少しお待ちください。また、「連続して印刷するとき」、「周囲の温度が高いとき」、「セルフィー背面の通風孔がふさがれるなどして、セルフィー内部の温度が高いとき」は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
- セルフィーを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、セルフィーをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万が一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。
- セルフィーが汚れたときは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
- バッテリーカバーや通風孔（p.6、29）にホコリがついたときは、インクを取り外して（p.14）からホコリをとってください。通風孔からホコリが入ると、きれいに印刷されないことがあります。


絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤を使ってセルフィーを拭かないでください。外装が変質や変形したり、塗装がはがれたりすることがあります。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。プリンターユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- Portions of the code used in this firmware are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品およびソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになったときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター　050-555-90013

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00 ／土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、セルフィーで印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。

CDP-J461-010